

# 精神保健福祉センター所報

令和5年度

新潟県精神保健福祉センター

## 巻 頭 あ い さ つ

令和5年度の新潟県精神保健福祉センター所報をお届けします。

当センターのこの1年の活動にご協力いただいた関係各位に深く感謝いたしますとともに、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

精神保健福祉分野は、近年の社会情勢の著しい変化や複雑・多様化する県民ニーズと相まって、対象とする範囲や支援内容が大きく変化しています。令和6年4月の改正精神保健福祉法完全施行に向け、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(「にも包括」)の構築を目指した取り組み、災害派遣精神医療チーム(DPAT)にかかる研修など当センターの守備範囲はここ数年拡大し続けており、業務の重要性も一層増してきています。

令和5年度事業では、前年度に引き続き、自殺対策、高次脳機能障害相談支援、ひきこもり対策、依存症対策に加え、前記の市町村職員等「にも包括」関係者向け研修、法改正に伴う精神医療審査会事務局業務の変更に対応しました。また県障害福祉課と共同で「子どものメンタルケア事例検討会」を開始したところです。

それぞれの分野において、支援従事者等の研修等による人材育成、つどい・交流会等の本人・家族支援、関係機関等に対する技術的支援など、市町村、保健所をはじめ地域の関係機関・団体と連携し、御協力を得て事業を推進しております。

ところで、令和5年5月に5類感染症へと移行した新型コロナウイルス感染症はその後大きな流行に至ることはなく、当所の各種事業も平時の感染症予防態勢での実施へと円滑に移行しました。令和2年1月の国内流行開始以来、各種研修会等がリモートにより実施できたことは各分野の講師の先生方のご協力があったることとあらためて厚く感謝申し上げますとともに、この間に修得したリモート研修、web会議等のノウハウは今後に向けさらに技術を磨いていく所存です。

終わりに、今後も各種精神保健福祉相談への対応や普及啓発のための情報発信を充実し、専門職等関係職員の資質の向上に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年3月

新潟県精神保健福祉センター

所 長 阿部 俊幸

# 目 次

## I センターの概要

1 職種別職員構成	1
2 予 算	1
3 施設 の 概 要	2

## II 事業実績

1 技術指導及び技術援助	4
2 教育研修	7
3 普及啓発	10
4 調査研究	11
5 精神保健福祉相談	12
6 組織育成・支援	14
7 精神医療審査会事務	15
8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務	17
9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供	18
10 自殺対策	20
11 思春期精神保健相談事業	22
12 ひきこもり地域支援センター事業	23
13 災害後の精神保健福祉対策	25
14 障害者総合支援法関連事業	26
(1)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業	26
(2)高次脳機能障害相談支援センター事業	30
15 依存症対策	33
16 協議会等	35

# I センターの概要

## 1 職種別職員構成

形態 \ 職種	医師	精神保健福祉 相談員	高次脳機能障 害相談支援コ ーディネータ ー	一般事務	計
常勤	1(1)	6		1	8(1)
非常勤	9	1	1	2	13
計	10(1)	7	1	3	21(1)

※ ( )は県立精神医療センターとの兼務である。

## 2 予 算

### (1) 歳 入 (円)

科 目	調定額	収入額
(款) 使用料及び手数料	1,781,836	1,781,836
(項) 使用料	1,781,836	1,781,836
(目) 行政財産使用料	1,781,836	1,781,836
(節) 土地使用料	74,800	74,800
(節) 建物使用料	1,707,036	1,707,036
(款) 諸 収 入	2,080,915	2,080,915
(項) 雑 入	2,080,915	2,080,915
(目) 雑 入	2,080,915	2,080,915
(節) 雑 入	2,080,915	2,080,915

### (2) 歳 出 (円)

科 目	予算額	支出済額
(款) 福 祉 保 健 費	27,261,498	25,917,262
(項) 障害福祉費	27,261,498	25,917,262
(目) 精神保健福祉センター費	12,073,000	11,683,345
(節) 報 酬	1,735,000	1,708,920
(節) 期末手当	351,000	350,216
(節) 共済費	353,000	337,626
(節) 報償費	80,000	65,400
(節) 旅 費	120,000	101,280
(節) 需用費	6,037,000	5,804,043
(節) 役務費	436,000	426,787
(節) 委託料	2,773,000	2,735,615
(節) 使用料及び賃借料	10,000	380
(節) 備品購入費	0	0
(節) 負担金・補助及び交付金	158,000	133,078
(節) 公課費	20,000	20,000

(\*職員給与を除く。)

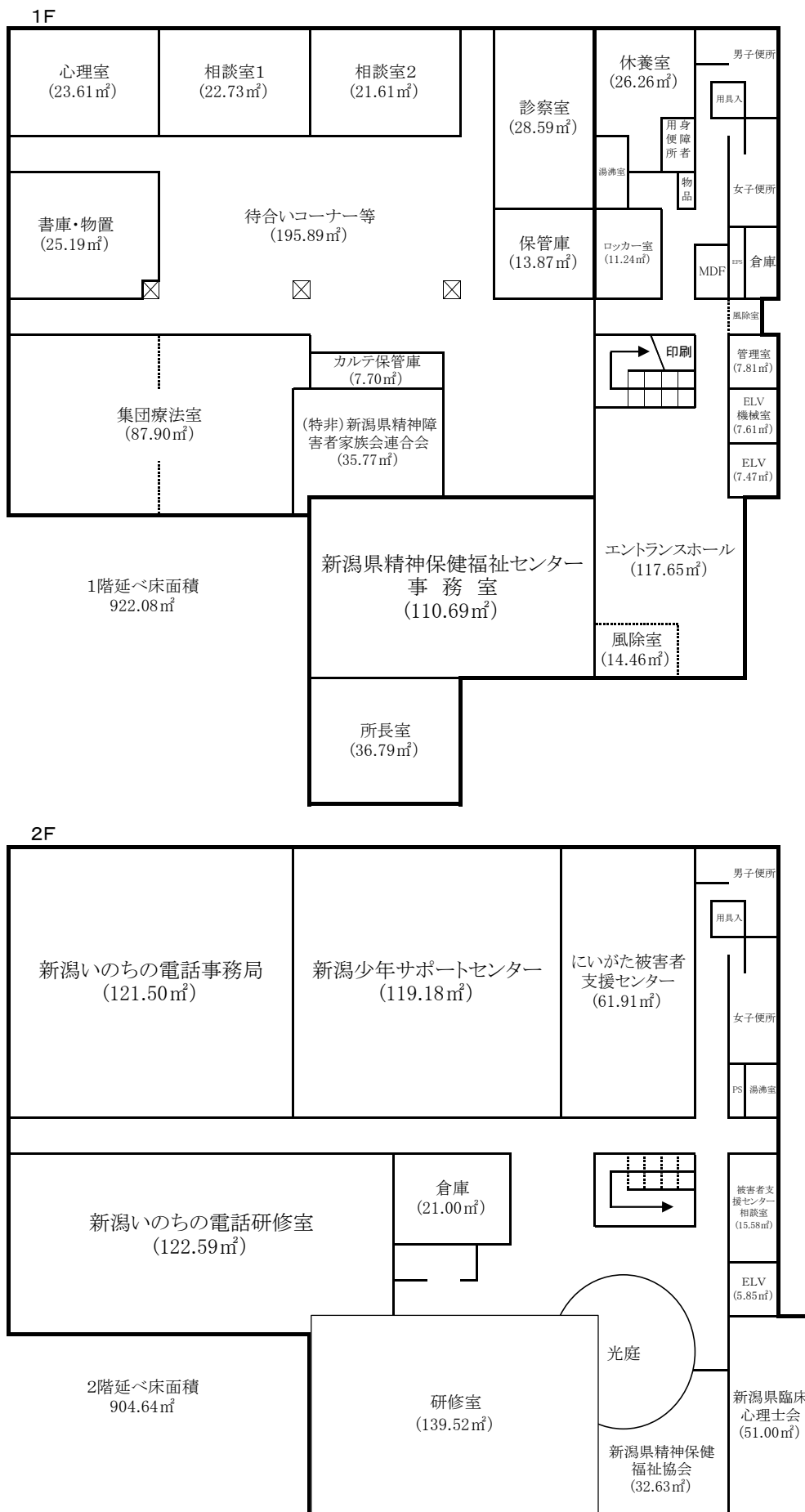
### 3 施設 の 概 要

(1) 名 称	新潟県精神保健福祉センター
(2) 所 在 地	〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザハート館 代表電話 025 (280) 0111 F A X 025 (280) 0112 相談電話 025 (280) 0113
(3) 沿 革	
昭和43年4月1日	新潟市川岸町1丁目57番地1に厚生相談センター（中央児童相談所、婦人相談所を加えた合同庁舎）の3階と2階の一部に「新潟県精神衛生センター」として設置。庶務課と相談指導課の2課制。専任職員12名
昭和46年4月1日	専任職員が1名削減され、11名
昭和58年4月1日	規制改正により課制廃止となり業務分担制となる。庶務課分掌事務は衛生部医務課庶務係の所管となる。専任職員11名が7名に削減
昭和63年3月29日	精神衛生法の改正により、「精神保健センター」に改称
平成7年4月1日	平成7年3月に中央児童相談所等の移転に伴い、庁舎名を精神保健センターへ名称変更。単独庁舎となる。所管は環境保健部公衆衛生課
平成7年7月10日	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、「新潟県精神保健福祉センター」に改称
平成10年	庁舎の大規模改修（耐震補強）工事が行われる。
平成13年4月1日	専任職員（事務）1名が増員され8名体制となり、庶務的分掌事務が福祉保健部健康対策課から移管 精神医療審査会の事務、精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）に関する判定の事務も移管
平成14年4月1日	専任職員（精神保健福祉相談員）1名が増員され9名体制となる。
平成16年3月8日	新潟市上所2丁目2-3新潟ユニゾンプラザハート館へ移転 相談専用電話の開設
平成22年4月1日	高次脳機能障害相談支援センター開設。相談専用電話が設置され、翌年1月には専任コーディネーターが配置される。
平成25年4月17日	障害福祉課内に開設された「新潟県ひきこもり地域支援センター」を支援するため当所に専用相談電話を開設。研修・啓発・技術支援を当所が担当
平成29年4月1日	専任職員（事務）1名が減員され8名体制となる。
平成31年4月1日	「新潟県ひきこもり地域支援センター」を当所内に設置 「新潟県アルコール健康障害対策推進計画」において相談拠点となる。
令和3年3月31日	新潟県依存症相談拠点機関運営事業」において相談拠点となる。
令和3年4月1日	新型コロナウイルス感染症に関するこころの相談に対応する専用電話相談「新型コロナ こころの相談」を開設（令和5年3月末まで）

#### (4) 案 内 図



(5) 施設配置図



## Ⅱ 事業実績

### 1 技術指導及び技術援助

地域振興局健康福祉(環境)部をはじめとして、関係機関からの要請に応じ職員を派遣し、技術支援等を行った。

○保健所・主管課

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打合せ(2回)(村上・新発田保健所主催)	技術支援	6人
	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(村上・新発田保健所主催)	助言	21人
新潟地域振興局 健康福祉部	○新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会(2回)	助言	延べ39人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(新津保健所・新潟市こころの健康センター主催)	情報提供	65人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○県央地域自殺対策連携会議	情報提供	12人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)	技術支援	4人
	○県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)	情報提供	延べ65人
	○県央地域市町村精神保健福祉担当者情報交換会	助言	15人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	助言	23人
	○県央圏域高次脳機能障害者家族のつどい(2回)	助言	延べ5人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○県央圏域ひきこもり支援従事者連絡会	技術支援	22人
	○中越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(長岡・柏崎保健所主催)	助言	45人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(3回)	技術支援	延べ97人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○中越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(2回)(長岡・柏崎保健所主催)	技術支援	延べ10人
	○高校生のメンタルヘルス支援会議	情報提供	16人
	○中越圏域自立支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会(2回)(長岡・柏崎保健所主催)	情報提供	延べ43人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○柏崎厚生病院交流会	講師	16人
	○自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助言	8人
南魚沼 地域振興局 健康福祉部	○南魚沼地域依存症回復支援事業「ふらっと」(2回)(南魚沼市、南魚沼保健所主催)	技術支援	延べ16人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打合せ(魚沼・十日町保健所共催)	技術支援	3人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(魚沼・十日町保健所共催)	助言	37人
	○魚沼圏域高次脳機能障害者家族のつどい(南魚沼・魚沼・十日町保健所主催)	技術支援	延べ8人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○上越圏域障害者地域支援連絡調整会議・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)(上越・糸魚川保健所主催)	情報提供	延べ28人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(6回)	技術支援	延べ115人
	○上越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(上越・糸魚川保健所主催)	技術支援	延べ11人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
糸魚川地域振興局 健康福祉部	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野) (2回)	技術支援	延べ22人
	○上越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(上越・糸魚川保健所主催)	技術支援	30人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○佐渡圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	助 言	19人
	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい(打合せ、振り返り)	技術支援	5人
	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい	技術支援	8人
県 障 害 福 祉 課	○いのちとこころの支援センター業務連絡会(3回)	情報提供	延べ41人
	○自殺対策担当者会議	情報提供	52人
	○新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	情報提供	17人
	○障害者ピアサポート研修に係る打合せ(3回)	情報提供	延べ43人
	○新潟県障害者ピアサポート基礎研修(2日間)	技術支援	43人
	○新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	情報提供	15人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議打合せ(3回)	技術支援	15人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議	技術支援	43人
	○新潟県DPAT研修会準備会(3回)	技術支援	延べ22人
	○新潟県DPAT研修会	技術支援	62人
○子どものメンタルケア事例検討会打合せ(5回)	技術支援	延べ32人	
○子どものメンタルケア事例検討会(4回)	技術支援	延べ420人	

○関係機関(県)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
警 察 本 部	○県警察学校講義(2回)	講 師	24人

○関係機関(市町村)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
新 発 田 市	○精神障がい者を支える人たちのフリートーク会	情報提供	10人
	○若者支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	29人
阿 賀 野 市	○地域生活支援拠点等にかかる打合せ(相談支援拠点)	技術支援	5人
加 茂 市	○精神障害対応した地域包括ケアシステム構築にかかる打合せ(相談支援拠点)	技術支援	6人
燕 市	○こころのゲートキーパー養成研修会(自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	11人
	○燕市自立支援協議会つばめで暮らそう部会(3回)	情報提供	延べ29人
	○燕市高齢・障がい分野同士の連携強化に向けた事例検討会打合せ	技術支援	4人
	○燕市高齢・障がい分野同士の連携強化に向けた事例検討会	講 師	24人
	○精神保健福祉法改正に係る勉強会	講 師	16人
	○困難事例検討会	助 言	4人
○相談支援専門員研修会(ひきこもり支援に関する講義)	講 師	18人	
長 岡 市	○ひきこもりに関する支援者研修会	講 師	59人
見 附 市	○ひきこもり支援者研修会	講 師	17人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
魚 沼 市	○こころのゲートキーパー養成研修会 (自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	15 人
南 魚 沼 市	○FM ゆきぐにラジオ放送「心の時間」の出演	情報提供	
佐 渡 市	○こころのゲートキーパー養成研修会 (自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	15 人
田 上 町	○田上町民生委員児童委員定例会 (自殺予防に関する講義)	講 師	28 人
出 雲 崎 町	○出雲崎町地域自立支援協議会 障害者部会 (2回)	助 言	延べ15人

○関係機関 (その他)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
さいがた医療センター	○ゲーム依存おふらいんキャンプ検討会(4回)	技術支援	延べ123人
	○ゲーム依存おふらいんキャンプ	技術支援	76人
新 潟 大 学 歯 学 部	○講義	講 師	25 人
新 潟 県 立 大 学	○特殊講義A (こころの健康づくりについて)	講 師	65 人
新 潟 県 立 三 条 高 校	○グローバル研究 (自殺予防に関する学生の研究活動)	助 言	3 人
新 潟 県 社 会 福 祉 協 議 会	○”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14 人
にいがた被害者支援センター	○継続研修 (相談員・支援員研修)	講 師	10 人
長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会	○不登校・ひきこもりを考える事例検討会	情報提供	30 人
自死遺族語り合いの会「虹の会」	○例会の運営支援 (6回)	技術支援	延べ34人
	○普及啓発に関する支援 (2回)	技術支援	2人
はばたきネット	○依存症関係機関・団体の情報交換のための定例会 (4回)	情報提供	延べ82人

## 2 教育研修

精神保健福祉業務従事者及び関係機関の職員に対して研修を行った。

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

市町村、精神科医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、地域活動支援センター、地域振興局健康福祉（環境）部等において、精神保健福祉業務の従事する職員を対象に、精神保健医療福祉に関する基礎知識及び技術を習得して円滑に業務を遂行し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築を推進する人材の育成を図るため、研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<前期> 9月4日～25日 （オンデマンド 配信）	○講義「精神保健福祉分野で必要な相談支援スキル」 講師：NPO 法人上越メンタルネット 地域活動支援センター あぼあん 管理者 青木 美代子 ○講義「精神保健福祉に関する施策について」 講師：障害福祉課いのちこころの支援室 政策企画員 本間 直美 ○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮	123人 (申込数)
<後期> 9月29日 （自治会館本館）	○講義「精神障害者の地域生活支援（総論）」 講師：一般社団法人上越相談ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ ○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～退院支援と地域生活を支える体制づくり～」 講師：田宮病院こころのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一 ○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～地域相談支援を活用した支援～」 講師：相談支援センター青空 次長・相談支援専門員 坂上 則子 ○グループワーク「あなたのまちの『にも包括』について」	76人

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

### (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（市町村編）

市町村、障害者基幹相談支援センター、市町村から障害者相談支援事業の委託を受けている事業者、及び地域振興局健康福祉（環境）部等において精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、市町村を主体として構築することとされている、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについての基本的な考え方への理解を深め、当該システムの構築を推進することができるよう、医療・保健・福祉関係者による協議の場を運営する担当者等の資質向上を目的として実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
9月8日 （オンライン）	○講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ～市町村の精神保健相談支援体制づくりのポイント～」 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 広沢 昇 ○実践報告 「地域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築・ 運用に向けた取り組み～『精神障がい者を支える人たちのフリー トーク会』設立から地域生活支援への『展開プロセス』を中心に～」 報告者：新発田市障がい者基幹相談支援センター相談員 本間 良 ○意見交換	60人

### (3) 措置入院の運用及び退院後支援研修会

地域振興局健康福祉（環境）部の精神保健福祉相談員等に対し、措置入院の運用に関する理解を深めることを目的に研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
4月27日 （オンライン）	○措置入院に関する事務処理（通報受理～調査～診察の決定まで）についての講義 ○演習	9人

### (4) 精神保健福祉相談員等新任者向け研修会

精神保健福祉相談員として、通報対応の法施行業務を適切に行うことができるようになること及び精神保健福祉にかかる相談支援が適切にできるよう、基礎知識・技術を習得し、基本姿勢を学ぶため研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<第1回> 4月27日 （オンライン）	○講義「措置入院について」 ○講義「法第27条に基づく調査のポイント」 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子 ○講義「受入先病院と診察医の探し方」 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 清野 美佐緒 ○演習「法第23条通報事例を用いた調査体験」 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子 精神保健福祉センター 専門相談員 保科 志貴子・清野 美佐緒 ○実習「調査書の作成」 ○講評・意見交換・質疑応答など 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子	9人
<第2回> 4月28日 （オンライン）	○講義「精神保健福祉相談対応の基本」 講師：新発田地域振興局健康福祉部 課長代理 細野 純子 ○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮	9人
<第3回> 1月25日 （精神保健福祉センター）	<第1部> ○相談支援や事業の企画運営に関する情報交換 <第2部> ○講義「思春期青年期の様々なこころの問題とその対応」 講師：南浜病院 副院長 川嶋 義章 ○事例検討 助言者：南浜病院 副院長 川嶋 義章 事例提供者：中越地域いのちこころの支援センター 専門相談員 石丸 雄貴	13人

## (5) 精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー

当県の精神医療・保健・福祉に関する多職種の関係者が一堂に会した質の高い研修の機会を提供するため、新潟県精神医療機関協議会、新潟県精神障害者家族会連合会、新潟県精神保健福祉士協会及び新潟県精神障害者社会福祉施設協議会とともに毎年テーマを決めて開催している。

月日 (会場)	内 容	参加者数
令和6年 2月16日 (オンライン)	<p>テーマ「精神障害者の権利擁護と意思決定支援」</p> <p>○基調講演「精神障害者の権利擁護と意思決定支援 ～権利擁護の法的枠組みと障害者権利条約～」 講師：福岡県弁護士会所属 弁護士 森 豊</p> <p>○シンポジウム ～一人の人として尊重する支援を行うために～ (シンポジスト)</p> <p>医療法人恵生会 南浜病院 院長 金子 尚史 医療法人崇徳会 田宮病院 ころろのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一</p> <p>一般社団法人 SADO Act 代表理事 相談支援センターそらうみ 主任相談支援専門員 本間 奈美 絆 with ピア 代表 佐藤 健太郎</p> <p>座長：医療法人社団敬生会 白根緑ヶ丘病院 院長 佐野 英孝 助言者：基調講演講師 森 豊</p>	368人 (申込数)

## (6) 学生実習

学生の職業意識向上のための機会提供と行政に対する理解を深めることを目的として、実習受け入れを行い、講義、会議・研修会等各種事業への参加等のプログラムを提供した。

ア 実習受入期間 16日間 (令和6年2月14日～3月7日)

受入学校・人数 新潟青陵大学・2名

### 3 普及啓発

県民の精神的健康の保持増進をはかり、関係機関に対して精神保健医療福祉に関する情報等を提供するため、以下の広報普及活動を行った。

#### (1) 講演会等

講演会等にて、精神保健に関する知識の普及啓発につとめた。

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月10日 (胎内市産業文化会館)	「アルコール健康障害普及啓発講演会」 アルコール健康障害に関する講演、依存症の普及啓発展示、相談会	79人
11月1日 (南魚沼市民会館)	「依存に関する困りごと 家族のための相談会」	4人
	「南魚沼市健康推進員研修会」(南魚沼市主催)における 依存症の普及啓発展示	
計		83人

#### (2) 普及啓発資材の貸し出し

精神保健福祉について正しい知識の普及を図るため、DVD や普及啓発パネルの貸し出しを行った。

貸出先 貸出物品	病院	関係機関	市町村	保健所	計
DVD	0	8	0	0	8
普及啓発パネル	0	0	0	5	5

#### (3) 機関誌等の発行

##### ア「精神保健福祉だより にいがた」の発行

精神保健福祉に関する取組やトピックについて広報するため、「精神保健福祉だより にいがた 第137号」を発行し、ホームページに掲載するとともに関係機関に配布した。

##### 【目次】

巻頭言 あらためて自殺率を考える(その4)

特 集 1. ひきこもり支援について

2. 依存症対策事業について

報 告 「第62回精神保健福祉東北大会」を開催しました

##### イ「精神保健福祉情報マップ」の発行

県内の精神保健福祉関連の社会資源について、関係機関が共有し業務に活用できるよう、「精神保健福祉情報マップ—令和5年度版—」(発行部数600部)を発行し、関係機関に配布した。

##### ウ「DVD目録」の発行

精神保健福祉センターが所有しているDVD等の目録を年1回作成・配布し、関係機関職員の研修や県民への普及啓発に活用できるようにした。

## 4 調査研究

精神保健福祉活動推進のため、調査研究を行い、情報発信した。

### 学会・研究会発表

月日 会の名称 (会場)	主担当者	内容
10月29日～30日 第59回全国精神保健福祉 センター研究協議会 (ザ・ヒロサワ・シティ 会館/水戸市) ※オンライン併用	所長 阿部 俊幸	自立支援医療(精神通院医療)受給者の 自殺率について

## 5 精神保健福祉相談

来所者及び地域振興局健康福祉(環境)部等の複雑困難な事例について、精神保健福祉相談及び精神医学的診断・指導助言を行い、必要な支援・援助活動を行った。

### (1) 年次別利用者数

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	実人数		延人数		実人数		延人数		実人数		延人数	
来所	114	男	89		330	114	男		85	228	107	男
		女	25	女			29	女	27			
電話	845	男	439	3,308	890	男	442	3,502	689	男	376	3,652
		女	389			女	409			女	285	
		不明	17			不明	39			不明	28	
計	959	男	528	3,638	1,004	男	527	3,730	796	男	456	3,890
		女	414			女	438			女	312	
		不明	17			不明	39			不明	28	

### (2) 男女別・年齢別実件

		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
来所	男	0	4	13	7	18	21	8	8	1	80
	女	0	1	7	3	8	3	3	2	0	27
	計	0	5	20	10	26	24	11	10	1	107
電話	男	0	20	33	41	35	55	29	32	131	376
	女	0	18	17	26	28	23	22	10	141	285
	不明	2	3	1	0	2	0	1	0	19	28
	計	2	41	51	67	65	78	52	42	291	689
計	男	0	24	46	48	53	76	37	40	132	456
	女	0	19	24	29	36	26	25	12	141	312
	不明	2	3	1	0	2	0	1	0	19	28
	計	2	46	71	77	91	102	63	52	292	796

### (3) 保健所管内別実件数

	新潟市	下越				中越						上越		県外	不明	計
		村上	新発田	新津	佐渡	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	上越	糸魚川			
来所	44	2	12	2	1	23	10	2	2	3	1	5	0	0	0	107
		17				41						5				
電話	113	15	54	23	14	116	95	11	11	8	9	36	5	18	161	689
		106				250						41				
計	157	17	66	25	15	139	105	13	13	11	10	41	5	18	161	796
		123				291						46				

## (4) 来所経路

	保健所	市町村	医療機関	福祉事務所	児童相談所	女性福祉相談所	施設	教育機関	警察機関	司法関係	その他の公的機関
来所	9	6	8	0	0	0	4	0	0	0	2
電話	6	22	25	0	0	0	4	4	1	0	22
計	15	28	33	0	0	0	8	4	1	0	24
	マスコミ	本・パンフレット	インターネット	いのちの電話	個人的紹介	精神障害者手帳	継続	直接来所 タウンページ	その他	不明	計
来所	0	1	11	0	4	0	57	0	2	3	107
電話	8	23	160	6	8	0	111	0	14	272	689
計	8	24	171	6	12	0	168	0	16	275	796

## (5) 主訴別実件数

主 訴	来所	電話	計	主 訴	来所	電話	計
発 達 の 問 題	1	1	2	家 庭 内 の 問 題	1	50	51
性 格 ・ 行 動 の 問 題	24	295	319	診 断 ・ 治 療 の 問 題	2	115	117
結 婚 ・ 遺 伝 の 問 題	0	1	1	リ ハ ビ リ テー シ ョ ン	31	100	131
教 育 の 問 題	0	14	14	そ の 他	46	84	130
職 業 の 問 題	2	29	31	計	107	689	796

## (6) 診断名別実件数

診断名 (疑い含む)	来所	電話	計	診断名 (疑い含む)	来所	電話	計
統合失調症・妄想性障害	0	41	41	摂 食 障 害	0	3	3
そ う う つ 病	0	20	20	パ ー ソ ナ リ ティ 障 害	1	7	8
う つ 病	0	44	44	精 神 遅 滞	0	9	9
そ の 他 の 気 分 障 害	0	0	0	自 閉 症 ・ ア ス ペ ル ガ ー 障 害	1	12	13
て ん か ん	0	3	3	そ の 他 の 発 達 障 害	1	6	7
老 年 期 精 神 障 害	0	2	2	不 登 校 ・ ひ き こ も り	0	4	4
高 次 脳 機 能 障 害	78	98	176	そ の 他	0	4	4
ア ル コ ー ル 関 連 障 害	0	17	17	不 明	9	365	374
薬 物 乱 用	1	1	2	障 害 な し	13	21	34
そ の 他 の 中 毒 性 精 神 障 害	1	12	13	計	107	689	796
神 経 症 性 障 害	2	20	22				

## (7) 処遇内容 (延件数)

紹介	助言	ケースワーク	医学的指導	訪問	その他	計
71	3,345	132	11	11	320	3,890

## 6 組織育成・支援

地域精神保健福祉活動の一環として、精神障害者家族会をはじめ各種団体に対して専門的立場から指導援助を行った。

要請機関・団体	内 容	参 加 者 数 (人)			備 考
		総 数	家族等	関係者	
新潟県精神医療 機関協議会	○理事会 2回 (オンライン) ○定期総会 (オンライン) ○精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー (令和6年2月16日) (オンライン) ○セミナー打合せ (2回) ○会報の発行 (2回)	13 24 368 13		13 24 368 13	
新潟県精神保健 福祉協会	○理事会 (オンライン) ○総会・精神保健福祉東北大会 (11月17日 東北精神保健福祉連絡協議会と両主催 /会場参集とオンライン配信の併用) ○全国精神保健福祉連絡協議会総会 (書面)	13 377		13 377	
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会 (実行委員会)	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 (8月26日)	63		63	
新潟県精神障害 者家族会連合会	○精神保健福祉フォーラム (6月5日) ○みんなねっと北信越ブロック家族会精神保健福祉 研修会新潟大会 (11月28日 会場参集とオンライ ンの併用)	80 88		80 88	※関係者に 家族等を含 む
はばたきネット	○定例会 (依存症関係機関・団体による情報交換) 4回 (オンライン)	82		82	
新潟青陵大学	○学生実習 (令和6年2月14日～3月7日)	2		2	
計		1,123		1,123	※関係者に家 族等を含む

## 7 精神医療審査会事務

精神科病院に入院中の者の人権擁護と適正な医療の確保のために、医療保護入院届や定期病状報告書の審査と入院患者等からの退院・処遇改善の請求に関して、精神医療審査会において入院継続の可否や処遇の適否に関する審査を行った。

### (1) 開催状況

ア 合議体 開催回数 24回(2回/月)、出席委員数 延115人  
イ 総会

会議名	開催日	会場	主な議題	出席委員数
新潟県精神医療審査会総会	12月26日	オンライン	・審査状況 ・令和6年度施行改正精神保健福祉法に係る新潟県精神医療審査会の体制についての検討	17人

### (2) 委員

ア 合議体 4合議体  
イ 委員数 25人 合議体所属委員：医療委員12人、法律家委員4人、有識者委員4人  
予備委員：医療委員2人、有識者委員3人

### (3) 審査状況

#### ア-1 退院等の請求審査

区分	請求受理件数	意見聴取件数	審査件数	審査結果				取り下げ件数	退院等審査要件の消失	審査中
				現在の入院形態による入院又は処遇が適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適當			
退院請求	37	22	18 (3)	18 (3)	0	0	0	15	3	1
処遇改善請求	16	10	6 (3)	6 (3)	0	0	0	9	0	1
合計	53	32	24 (6)	24 (6)	0	0	0	24	3	2

\* ( )内は昨年度受理分

#### ア-2 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間(当年度受理分)

区分	日数別件数					合計	平均処理日数(日)
	30日以内	31日以上～40日以内	41日以上～60日以内	61日以上～90日以内	91日以上		
退院請求	4	3	8	2	1	18	53.6
処遇改善請求	2	1	2	0	1	6	59.2

## イ 定期の報告等の審査

区分	諮問 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地 審査 件数	意見 聴取 件数	審 査 中
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適当			
医療保護入院届	2,543	(87)	2,533	0	0	0	0	0	10
定期病 状報告	措置入院	12	11	0	0	0	0	0	1
	医療保護入院	1,164	1,143	0	0	0	0	0	21
合 計	3,719	(165)	3,687	0	0	0	0	0	32

### (4) 審査実績年次推移

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審査会開催回数	24	24	24	24	24
入院届審査件数	2,151	2,457	2,564	2,558	2,543
定期病状報告書審査件数	1,268	1,310	1,270	1,241	1,176
退院等請求審査件数	41	50	48	14	24

\*令和5年度は、当年度内に書類審査を諮問した件数及び退院等請求を受理し審査した件数

### (5) 退院等請求相談電話の状況

件 数	内 訳		
	入院者本人	家族等	その他
283	274	3	6

### (6) 精神医療審査会関係会議等

会議名	主催	開催日	主な内容	出席者数
全国精神医療審査会 会長会議	厚生労働省社会・ 援護局障害保健福 祉部精神・障害保 健課	令和6年 2月22日 (アルカディア 市ヶ谷)	・精神医療保健福祉の動向 ・精神保健福祉法関係に関する指 導監督等の現状について	1人
全国精神医療審査会 連絡協議会 総会・シンポジウム	全国精神医療審査会 連絡協議会	令和6年 2月22日 (アルカディア 市ヶ谷)	・総会 ・基調報告 「令和5年度全国精神医療審査会 連絡協議会緊急アンケート調査 結果速報」 ・シンポジウム 「精神医療審査会事務局機能の強 化のために ～緊急アンケート 調査の結果を踏まえて～」	1人

## 8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務

自立支援医療費（精神通院）支給認定の適否及び精神障害者保健福祉手帳交付の可否や等級判定を行った。

### (1) 自立支援医療判定件数 ※手帳同時申請による判定を含む

判定件数	13,185
承認件数	13,092
不承認件数	13

(承認/不承認件数は、令和6年3月末時点で判定結果が出たもの)

### (2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数	4,852
承認件数	4,661
1級	227
2級	4,116
3級	318
不承認件数	48

(承認/不承認件数は、令和6年3月末時点で判定結果が出たもの)

## 9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供

精神科救急医療システムの稼働状況の取りまとめ、当番体制の調整・管理を行った。

### 精神科救急医療システム稼働状況

(休日昼間)

令和5年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	22.0%	54.9%	72.1%	39.4%	56.9%	49.9%
稼働日数	27	95	88	37	70	317
当番日数	123	173	122	94	123	635
対応件数	32	280	471	53	162	998
電話のみ	17	187	403	40	128	775
電話→来院	11	86	56	7	33	193
直接来院	4	7	12	6	1	30
処理内容	32	280	471	53	162	998
相談助言	19	191	405	40	129	784
外来診療	5	63	38	3	22	131
入院	8	26	28	10	11	83
任意入院	2	5	6	2	4	19
医療保護	5	19	18	6	3	51
その他	1	2	4	2	4	13

年度別推移

状況	年度					
	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
稼働状況	59.5%	61.3%	62.3%	59.2%	58.0%	49.9%
稼働日数	390	398	392	369	365	317
当番日数	655	649	629	623	629	635
対応件数	1,146	1,282	1,215	1,090	1,150	998
電話のみ	815	961	952	833	918	775
電話→来院	263	233	212	214	195	193
直接来院	68	88	51	43	37	30
処理内容	1,146	1,282	1,215	1,090	1,150	998
相談助言	824	973	964	839	918	784
外来診療	205	228	159	156	152	131
入院	117	81	92	95	80	83
任意入院	19	19	19	18	23	19
医療保護	84	53	65	69	50	51
その他	14	9	8	8	7	13

( 夜 間 )

令和5年度ブロック別比較

ブロック	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	62.3%	86.5%	79.6%	33.3%	49.5%	74.9%
稼働日数	43	257	191	11	46	548
当番日数	69	297	240	33	93	732
対応件数	69	1,226	778	13	84	2,170
電話のみ	40	1,055	703	7	73	1,878
電話→来院	24	164	63	3	10	264
直接来院	5	7	12	3	1	28
処理内容	69	1,226	778	13	84	2,170
相談助言	40	1,058	705	7	73	1,883
外来診療	20	96	32	0	6	154
入院	9	72	41	6	5	133
任意入院	1	14	5	1	3	24
医療保護	6	54	31	5	2	98
その他	2	4	5	0	0	11

年度別推移

年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
稼働状況	78.6%	78.2%	77.7%	79.4%	74.8%	74.9%
稼働日数	574	572	567	546	579	548
当番日数	730	731	730	730	730	732
対応件数	2,427	2,612	2,447	2,328	2,461	2,170
電話のみ	2,097	2,312	2,161	2,174	2,059	1,878
電話→来院	307	266	264	259	246	264
直接来所	23	34	22	28	23	28
処理内容	2,427	2,612	2,447	2,328	2,461	2,170
相談助言	2,105	2,322	2,167	2,180	2,063	1,883
外来診療	185	157	134	149	150	154
入院	137	133	146	132	115	133
任意入院	29	33	20	25	14	24
医療保護	94	90	101	106	91	98
その他	14	10	11	15	10	11

## 10 自殺対策

### (1) 人材育成

#### ア いのちとこころの支援センター専門相談員に対する技術援助

県が設置する自殺対策専門の相談支援機関「いのちとこころの支援センター」(3か所)に従事する専門相談員の育成、支援として、研修会の開催及び業務連絡会での助言等を行った。

いのちとこころの支援センター専門相談員等業務連絡会(第1回参集、第2回・第3回オンライン)  
【月 日】6月15日、10月23日、令和6年2月5日  
【参加者】延べ41人

いのちとこころの支援センター専門相談員等研修会  
【月 日】6月15日  
【参加者】18人

#### イ 支援者研修会

医療、保健、福祉関係機関の職員が、自殺未遂等のハイリスク者への支援において、適切な対応を理解し実践できることを目的に、研修会を開催した。

【月 日】令和6年3月6日  
【方 法】オンライン  
【内 容】・講義「自死遺族の心理と支援の基本」  
講師:東京都立大学 人文社会学部人間社会学科心理学教室 准教授 勝又 陽太郎  
・報告「自死遺族語り合いの会の活動と遺族としての思い」  
報告者:自死遺族語り合いの会 虹の会 世話人  
・トークセッション(講師、報告者)  
【参加者】120人

※市町村及び保健所を対象に、オンデマンド配信も実施した。(令和6年3月18日から3月31日)

#### ウ 市町村・民間団体等主催人材養成研修会への技術支援

市町村や民間団体が開催する住民又は団体構成員に対するゲートキーパー養成研修会に対して、企画への助言や講師として開催支援を行った。

○市町村主催  
【時 期】10月、11月、12月  
【実施市町村】佐渡市、魚沼市、燕市、田上町 計4市町  
【内 容】自殺危機初期介入スキルワークショップ(ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研究会のテキストを使用)や講義形式の研修会等  
【参加者】計69人

## (2) ポストベンション

### ア 自死遺族支援

自助グループである自死遺族語り合いの会が円滑に運営できるよう支援した。

○自死遺族語り合いの会「虹の会」への支援（会場提供、運営の補助）

【例 会】年6回：偶数月第1木曜日開催

【会 場】精神保健福祉センター

【参加者】延べ34人

### イ ポストベンション

自殺者や未遂者の発生した事業所等団体や関係機関に対して、場のケアやその後の対策への助言等支援を行い、精神的不調者や再発のリスク軽減を図る。（令和5年度は支援依頼なし）

## (3) 市町村・関係機関・保健所技術支援

### ア 市町村・関係機関等への支援

自殺予防対策を実施する市町村・関係機関に対して、技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
障 害 福 祉 課	自殺対策担当者会議	情 報 提 供	52 人
新 潟 県 立 大 学	こころの健康に関する講義	講 師	65 人
新 潟 県 立 三 条 高 校	自殺予防に関する学生の研究活動への助言	助 言	3 人
計	3回		120 人

### イ 保健所への支援

自殺予防対策を実施する保健所に対して技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
三 条 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 環 境 部	県央地域自殺対策連携会議	情 報 提 供	12 人
柏 崎 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	高校生のメンタルヘルス支援会議	情 報 提 供	16 人
魚 沼 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助 言	8 人
計	3回		36 人

## (4) 普及啓発

- ・自殺の現状や自殺予防に関する情報をホームページに掲載。
- ・県こころの相談ダイヤルのリーフレット・カード等の配布による相談窓口の周知。
- ・メンタルヘルス、自死遺族支援等の自殺予防に関連する普及啓発リーフレットを関係機関に配布。
- ・自死遺族語り合いの会「虹の会」の普及啓発への協力。

## 11 思春期精神保健相談事業

### (1) 来所相談（再掲）

適応障害や精神疾患等の思春期の心の問題の解決を図るため、思春期青年期精神保健福祉相談会（ケース検討への助言含む）を年5回開催し、専門的診断・指導を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	5	5
女	2	2
計	7	7

#### イ 性別・年齢別実件数

	～14	15～19	20～	計
男	0	2	3	5
女	0	1	1	2
計	0	3	4	7

#### ウ 診断名別実件数

診断名	件数	診断名	件数
統合失調症	0	摂食障害	0
発達障害	0	パーソナリティ障害	0
社会不安障害	0	無し	1
場面緘黙	0	不明その他	6
		計	7

#### エ 支援別実件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	0
相談継続	1
助言指導	6
計	7

### (2) 本人及び家族支援

#### ア ひきこもり家族交流会

月日（会場）	内容	参加者数
8月25日 （精神保健福祉センター）	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師／スクールカウンセラー 山崎 里美	6人
11月29日 （精神保健福祉センター）	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師／スクールカウンセラー 山崎 里美	5人

#### イ ひきこもり当事者グループ「シエスタ」

※参加者なく休止中（令和元年から）

## 12 ひきこもり地域支援センター事業

平成25年4月に県ひきこもり地域支援センターが設置され、ひきこもり相談ダイヤルへの対応等専門相談、関係職員等への研修、普及啓発、市町村等への技術支援を行った。

### (1) ひきこもり相談ダイヤル

ひきこもり相談ダイヤルを設置し、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの電話相談に対し、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	45	78
女	17	20
不明	1	1
計	63	99

#### イ 性別・年齢（実件数）

	10代	20代	30代	40代	50代 ～	不明	計
男	3	13	7	9	8	5	45
女	0	3	6	1	1	6	17
不明	0	0	0	0	0	1	1
計	3	16	13	10	9	12	63

#### ウ ひきこもりの期間（実件数）

ひきこもりの期間	件数
6ヶ月未満	6
1年未満	4
3年未満	9
5年未満	7
7年未満	1
10年未満	3
10年以上	13
不明	11
計	54

\*ひきこもり以外の相談（9件）を除く

#### エ 現在の状況（実件数）

現在の状況	件数
自室からほとんど出ない。出かけてもコンビニ程度	17
普段は家に閉じこもり気味だが、趣味に関することのみ出かける	17
友人との付き合いや、地域活動に参加しているが、未就労	4
不明・その他	16
計	54

\*ひきこもり以外の相談（11件）を除く

#### オ 主訴（延べ件数）

主訴	件数
発達の問題	0
性格・行動の問題	84
結婚・遺伝の問題	0
教育の問題	2
職業の問題	2
家庭内の問題	3
診断・治療	1
リハビリテーション	3
その他	4
計	99

#### カ 処理内容（延べ件数）

処理内容	件数
紹介	9
助言	66
ケースワーク	6
医学的指導	0
その他	18
計	99

## (2) 当事者支援（「居場所」運営支援）

ひきこもり状態の方が参加しやすい「居場所」が各地域において効果的に運営されることを狙いとして、ひきこもり状態を経験した者による「居場所」に関する意見交換の機会（年3回）を設け、ひきこもり経験のある方の意見を広く発信した。また、交わされた意見を取りまとめ、「あらためて『居場所』のことを語ろう」と題して市町村等に情報提供し、ホームページに掲載した。

## (3) ひきこもり支援従事者研修会

ひきこもりに関する基礎知識及び技術について学び、支援技術の向上を図るため、市町村、保健所等関係機関の職員に対して研修を行った。

月日（会場）	内 容	参加者数
10月19日 （新潟ユニゾンプラザ）	○説明 小冊子「ひきこもりの理解のために」の活用について 説明者：新潟県精神保健福祉センター 主査 山元 奈々江  ○体験発表 「家族としての想いと地域における支援活動」 発表者：ひきこもりサポーター 加藤 洋子  ○講義・グループワーク 「支援は家族から～家族の変化が本人の変化に～」 講師：長岡崇徳大学 教授 斎藤 まさ子	88人

※ひきこもりサポーター養成研修を兼ねて開催

## (4) 技術支援

ひきこもり対策を実施する保健所等関係機関に対して、技術支援を行った。

要請機関	内 容	役 割	参加者数
新発田市	若者支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	29人
長岡市	ひきこもりに関する支援者研修会	技術支援	59人
燕市	相談支援専門員研修会	技術支援	18人
見附市	ひきこもり支援者研修会	技術支援	17人
新潟県社会福祉協議会	”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14人
長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会	長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会事例検討会	情報提供	30人
三条地域振興局健康福祉環境部	県央圏域ひきこもり支援従事者連絡会	技術支援	22人
計	7回		189人

## 13 災害後の精神保健福祉対策

### (1) 災害後のこころのケアの対応

自然災害や大規模な事件・事故等の発生によるこころのケアについて、要請に応じて必要な対応を行う。

### (2) DPAT（災害派遣精神医療チーム）に関する活動

大規模な自然災害・事故等が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により、新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。

このような状況に対応するため、本県におけるDPATの体制整備及び災害対応力の向上に向けた取組に参画した。

#### 【県が実施する研修への参画】

月 日	内 容
6月6日 8月18日 10月3日	新潟県DPATに関する研修会準備会
11月3日	新潟県DPATに関する研修会

## 14 障害者総合支援法関連事業

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業

#### ア 研修会の開催

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の実現ために、保健・医療・福祉関係者が自治体等と連携して支援体制を構築していくことが必要であり、精神科病院、障害者地域生活支援センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、市町村、保健所等に対して研修を行った。

#### (ア) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

月日（会場）	内 容	参加者数
<p>&lt;前期&gt; 9月4日～25日 （オンデマンド配信）</p>	<p>○講義「精神保健福祉分野に必要な相談支援スキル」 講師：NPO法人上越メンタルネット 地域活動支援センター あぼあん 管理者 青木 美代子</p> <p>○行政説明「精神保健福祉に関する施策について」 説明者：障害福祉課のちところの支援室 政策企画員 加藤 花恵</p> <p>○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮</p>	123人 (申込数)
<p>&lt;後期&gt; 9月29日 （自治会館本館）</p>	<p>○講義「精神障害者の地域生活支援（総論）」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ</p> <p>○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～退院支援と地域生活を支える体制づくり～」 講師：田宮病院こころのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一</p> <p>○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～地域相談支援を活用した支援～」 講師：相談支援センター青空 次長・相談支援専門員 坂上 則子</p> <p>○グループワーク「あなたのまちの『にも包括』について」</p>	76人

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

#### (イ) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（市町村編）

月日（会場）	内 容	参加者数
<p>9月8日 （オンライン）</p>	<p>○講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ～市町村の精神保健相談支援体制づくりのポイント」 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 広沢 昇</p> <p>○実践報告 「地域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築・運用に向けた取り組み～『精神障がい者を支える人たちのフリートーク会』設立から地域生活支援への『展開プロセス』を中心に～」 報告者：新発田市障がい者基幹相談支援センター相談員 本間 良</p> <p>○意見交換</p>	60人

#### (ウ) 措置入院の運用及び退院後支援に関する研修会

月日（会場）	内 容	参加者数
<p>4月27日 （オンライン）</p>	<p>○措置入院に関する事務処理（通報受理～調査～診察の決定まで） についての講義</p> <p>○演習</p>	9人

## イ ピアサポート活動の推進

県内関係者にピアサポート活動の普及を行うため、研修会を開催した。また、新潟県障害者ピアサポート研修の開催に協力した。

### (ア) 精神障害者ピアサポートに関する研修会

日時	内 容	参加者数
令和6年 1月15日 (オンライン)	○活動報告「お互いのピアサポート活動について知ろう」 ○意見交換「これからのピアサポート活動について語ろう」 助言者：聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科 教授 相川 章子	60人

### (イ) 新潟県障害者ピアサポート研修への協力

内 容	参加者数
障害者ピアサポート研修に係る打ち合わせ（3回）	延べ43人
新潟県障害者ピアサポート基礎研修（2日間）	43人

## ウ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業担当者連絡会議の開催

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業に関する情報交換と、障害保健福祉圏域単位の支援体制の構築に向けて具体的内容の検討を目的に担当者連絡会議を開催した。

日時（会場）	内 容	参加者数
5月31日 (オンライン)	【議題】 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業について ・令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業計画 ・障害者地域生活支援体制整備事業について 【意見交換】 ・市町村が実施する精神保健に関する相談支援体制の整備について	16人
令和6年 3月18日 (オンライン)	【議題】 ・令和5年度事業実施状況について ・障害者地域生活支援体制整備事業専門アドバイザー派遣等の実施状況について ・実践報告「新潟圏域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の取組について」 ・意見交換	13人

## エ 障害者地域生活支援体制整備事業

障害者及び障害児の地域生活を支援するため、県の拠点的相談機関が専門アドバイザーを派遣し、地域における重層的な相談支援体制を広域的かつ専門的に支援するとともに、各障害保健福祉圏域及び県全域における相談支援体制に関する協議等を行い、もって障害者等の福祉の増進を図る。

### 専門アドバイザー派遣（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築）

専門アドバイザーを派遣し、地域で対応困難な事例に係る助言、地域のネットワーク構築に向けた指導、調整等を行うことにより、地域における相談支援の充実・強化を図った。

要請機関	内 容	専門アドバイザー	回数
三条地域振興局 健康福祉環境部	ネットワーク構築	1人（福祉）	2回
長岡地域振興局 健康福祉環境部	広域的課題等の解決	1人（福祉）	3回
柏崎地域振興局 健康福祉部	ネットワーク構築	1人（福祉） 1人（医療）	1回
上越地域振興局 健康福祉環境部	ネットワーク構築	1人（福祉）	1回
	困難事例に係る助言	1人（福祉）	6回
糸魚川地域振興局 健康福祉部	ネットワーク構築	1人（福祉）	2回

## オ 市町村及び障害保健福祉圏域における取組への支援

市町村及び障害保健福祉圏域における「協議の場」への出席等にて、地域における相談支援体制の整備を図った。

圏 域	内 容	役割	参加者数
下越圏域	精神障がい者を支える人たちのフリートーク会（1回）	情報提供	10人
新潟圏域	新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会（2回）	助 言	延べ39人
県央圏域	県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供 助 言	延べ65人
	県央地域市町村精神保健福祉担当者情報交換会	情報提供	15人
	燕市障がい者自立支援協議会 つばめで暮らそう部会関連（7回）	情報提供 講師・助言	延べ77人
中越圏域	中越圏域自立支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会（2回）	情報提供 助 言	延べ43人
	柏崎厚生病院交流会	講 師	16人
	出雲崎町地域自立支援協議会障害者部会（2回）	助 言	延べ15人
上越圏域	上越圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供	延べ28人

## カ 新潟県自立支援協議会関係会議等への出席

自立支援協議会関係会議の他、新潟県障害者地域生活支援体制整備事業にかかる打合せ等に、県の相談支援拠点機関として出席した。

会 議 名	参加者数
新潟県自立支援協議会（3回）	延べ108人
新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	17人
新潟県自立支援協議会担当者会議（2回）	延べ39人
新潟県障害者地域生活支援体制整備事業担当者会議	30人

## (2) 高次脳機能障害相談支援センター事業

### ア 相談支援実績（再掲）

相談支援件数 536 件（延べ件数） 相談支援者数 75 人（実人数）

直接相談（延べ件数）				間接相談（延べ件数）				計	ケース会議（協力）	
電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）	電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）		開催数	参加者数
203	59	4	4	173	11	74	8	536	12	69

※直接相談は当事者・家族からの相談、間接相談は関係機関（行政・医療・福祉等）からの相談とする。

### イ 普及啓発

リーフレット等の配布やホームページによる情報発信

### ウ 医療・保健・福祉関係職員研修の開催

医療保健福祉関係者の知識、支援技術の向上を図るために研修会を実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
令和6年 1月20日 （オンライン） 及び 1月29日～2月29日 （オンデマンド配信）	○実践報告「頭部外傷と高次脳機能障害」 講師：日本赤十字社 長岡赤十字病院 リハビリテーション科部 言語聴覚士 上村 優里  ○講義「高次脳機能障害に出現する行動障害や精神症状の対応」 講師：日本赤十字社 足利赤十字病院 精神神経科 部長 船山 道隆	210 人

### エ 技術支援

#### (ア) 圏域別支援従事者研修会への技術支援

二次保健医療圏において、高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法等の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、各圏域における支援ネットワークの構築に資するため、保健所主催で圏域別支援従事者研修会を実施している（7圏域）。各圏域の状況に応じて、企画への助言や情報提供、事例検討の助言等の支援を行った。

圏域	内 容	役割	参加者数
下越圏域	研修企画（打ち合わせ2回） 事例提供「高次脳機能障害がある方への支援～地域の介護、障害福祉の関係機関と協力し支援したケース」	技術支援 助 言	27 人
新潟圏域	行政説明	情報提供	65 人
県央圏域	行政説明、事例検討の助言	助 言	23 人
中越圏域	行政説明 事例提供「高次脳機能障害がある方への支援～発症後、症状に気付かず10年の時を経て支援機関が介入したケース」	助 言	45 人

圏域	内 容	役割	参加者数
魚沼圏域	研修企画（打ち合わせ） 事例検討の助言	技術支援 助 言	40 人
上越圏域	グループワークの補助	技術支援	30 人
佐渡圏域	事例検討の助言	助 言	19 人

#### (イ) 関係機関・団体への技術支援

勉強会等の開催等の依頼はなかった。

#### オ 組織育成

家族会の育成のため、講習会の実施に当たって実行委員会に参加し普及啓発に寄与した。

月日（会場）	内 容	参加者数
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会  8月26日 (生涯学習センター)	主催：高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会  ○講演「高次脳機能障害『個別性』を乗り越える自己理解支援とは？」 講師：文筆業 鈴木 大介 ○質問・相談コーナー	63 人

#### カ 家族支援

高次脳機能障害者の家族が、障害についての理解を深め、負担感・孤独感の軽減と対応力の向上を図ることを目的に実施した。

#### (ア) 家族教室

月 日	内 容	参加者数
<魚沼会場> 9月25日	○講話：「高次脳機能障害の基礎知識」 講師：南魚沼市民病院 リハビリテーションセンター 作業療法士 井口 一樹  ○語り合い	9 人
<上越会場> 9月27日	○講話：「高次脳機能障害についての基礎知識」 講師：(独) 労働者健康安全機構 新潟労災病院 中央リハビリテーション部 言語聴覚士 森田 浩  ○語り合い	9 人

#### (イ) 家族のつどい

高次脳機能障害者の家族同士の語り合いを促し、高次脳機能障害に関する情報提供を行った。

圏域	会 場	期 間	役割	参加者
全県	精神保健福祉センター	6月から令和6年2月（全5回）	主 催	延べ88人
県央圏域	三条地域振興局健康福祉環境部	11月から令和6年3月（全2回）	共 催	延べ5人
中越圏域	長岡地域振興局健康福祉環境部	7月から10月（全2回）	共 催	延べ10人

圏域	会 場	期 間	役割	参加者
魚沼圏域	南魚沼地域振興局	9月から11月（全2回）	共 催	延べ8人
上越圏域	上越地域振興局健康福祉環境部	6月から12月（全3回）	共 催	延べ11人
佐渡圏域	佐渡総合病院	7月から令和6年2月（全3回）	共 催	延べ12人

※佐渡圏域については、実施にかかる打合せ、振り返りも実施。

## キ 本人支援

高次脳機能障害者のある当事者同士の交流や情報交換を通じて、障害についての理解を深め、孤立感の解消やストレスの軽減を図ることを目的に実施した。

### 当事者のつどい

期 間	会 場	対 象	参加者	プログラム
9月19日 12月12日	障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害の当事者	延べ 37人	○語り合い、情報提供（2時間） 助言者： 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部 准教授 佐藤 卓也 長岡赤十字病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 上村 優里（長岡会場のみ）
10月24日 令和6年 3月5日	長岡地域振興局			

## ク 支援体制整備の推進

### （ア） 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議の開催

高次脳機能障害相談支援地域拠点における相談支援の現状や課題について情報交換を行い、地域拠点機能の充実を図ることを目的に開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<第1回> 7月31日 （オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政説明</li> <li>令和4年度県及び地域拠点の事業実施状況について</li> <li>令和5年度国の事業方針について</li> <li>令和5年度県及び各圏域の事業計画について</li> <li>情報・意見交換（研修企画、つどいの周知方法について等）</li> </ul>	12人
<第2回> 令和6年3月4日 （オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度県及び地域拠点の事業実施状況について</li> <li>令和6年度県の事業計画について</li> <li>情報・意見交換（研修のあり方、事業周知について等）</li> </ul>	14人

### （イ） 高次脳機能障害支援拠点運営委員会の出席（主催：障害福祉課）

高次脳機能障害支援拠点の運営、県の支援の現状と課題、県の支援体制整備に関することを検討する高次脳機能障害支援拠点運営委員会に出席し、報告等を行った。（1回）

## 16 協 議 会 等

関係機関の主催する各種協議会等に参加し、連携・支援を行った。

主 催 者	会 議 等 の 名 称	出席者 数(延)
新潟県被害者支援連絡協議会	新潟県被害者支援連絡協議会定期総会	1人
新潟保護観察所	新潟県薬物事犯者等地域支援連絡協議会	4人
	新潟県心神喪失者等医療観察制度運営協議会	1人
国立病院機構西新潟中央病院 てんかん診療拠点地域医療支援センター	てんかん治療連携協議会（2回）	2人
障害福祉課・義務教育課	発達障害者支援体制整備検討委員会及び特別支援教育総合推進事業運営協議会	1人
県子ども家庭課	新潟県配偶者暴力防止連絡会議	1人
県障害福祉課	新潟県精神保健福祉審議会	2人
	新潟県自殺予防対策推進県民会議（オンライン）	1人
	自殺対策担当者会議（オンライン）	1人
	精神保健指定医会議・精神科病院事務長・看護部長会議（オンライン）	3人
	新潟県措置入院制度連絡調整会議（オンライン）	3人
	新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会（オンライン）	3人
	新潟県障害者地域生活支援体制整備事業担当者会議	2人
	障害(児)福祉計画市町村等担当者会議	2人
	新潟県自立支援協議会担当者会議 第1回（参集）第2回（オンライン）	4人
	新潟県自立支援協議会（3回）	4人
	新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	2人
新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	2人	
依存症対策全国センター	都道府県等依存症専門医療機関・相談員等合同全国会議	1人
国立障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（オンライン2回）	4人
	高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議（オンライン2回）	4人
高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議	高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議（オンライン）	2人
関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会役員会（オンライン）	1人
	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	1人
全国精神保健福祉センター長会	全国精神保健福祉センター長会（オンライン）	1人
全国精神保健福祉センター研究協議会	第59回全国精神保健福祉センター研究協議会（オンライン）	4人
全国精神医療審査会連絡協議会	全国精神医療審査会連絡協議会 総会	1人
	全国精神医療審査会長・精神保健福祉センター所長会議	1人

## 15 依 存 症 対 策

### (1) 回復支援

#### ア 依存症等精神保健福祉相談（再掲）

依存症は、当事者の否認や社会生活の破綻、家族との関係性などが回復の妨げとなり、相談対応には支援者の連携も必要であるため、精神科医（嘱託医）、民間支援団体と連携し、専門相談を実施した。3回（薬物）

#### イ 精神保健福祉相談員等による依存症に関する相談（再掲）

##### (ア) 相談件数

	実件数	延べ件数
電話	49	112
来所	4	15
計	33	127

##### (イ) 依存対象別延べ件数

依存対象	件数
アルコール	34
薬物	16
ギャンブル等	50
ゲーム	6
その他	21
計	127

##### (ウ) 支援別延べ件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	11
ケースワーク	32
助言指導	80
その他	4
計	127

#### ウ 依存症地域回復支援プログラム

依存の問題がありつつも治療・回復プログラムや支援に繋がりにくい方を主な対象として、仲間や支援者と交流し、つながることや依存症について学ぶことを目的とするプログラム（居場所の運営による交流企画）の実施を支援した。

また、南魚沼地域の支援者及び依存症治療拠点と協働して企画・開催することで、人材の育成を図るとともに、依存症支援に関する医療・保健・福祉の連携強化を図った。

月日	会場	内 容	参加者数
9月20日	南魚沼市図書館 「多目的室」	・運営に従事 ・中間振り返り	9人
令和6年 3月1日	オンライン	・今年度の振り返りと次年度計画の検討	7人

※南魚沼市と南魚沼地域振興局健康福祉環境部が主催、当所、さいがた医療センター、南魚沼市社会福祉協議会が共催。6回実施。参加者延べ49人（当事者等）。

### (2) 普及啓発

#### ア 講演会等

アルコール健康障害やその他の依存の問題を抱える方の家族や周囲の者が、相談や治療に繋がりがやすい環境整備を図ることを目的に、予防教育や普及啓発と併せて相談対応を行った。

また、胎内市及び南魚沼市において関係機関が協力して実施することで、依存症支援のスキルアップを図るとともに、医療・保健・福祉の地域連携を強化した。

月日（会場）	内 容	参加者数
11月10日 （胎内市産業文化会館）	「アルコール健康障害普及啓発講演会」 アルコール健康障害に関する講演 依存症の普及啓発展示、相談会	79人

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月1日 (南魚沼市民会館)	「依存に関する困りごと 家族のための相談会」	4人
	「南魚沼市健康推進員研修会」(南魚沼市主催)における 依存症の普及啓発展示	
計		83人

## イ その他

令和3年度に作成した県内の依存症支援機関一覧「つながるマップ」を増刷し、精神科医療機関や相談支援機関に配布した。

適性飲酒に関するパネル及びチラシを作成し、講演会等において展示及び配布を行った。

## (3) 研修

依存症の相談支援にあたる者の支援技術の向上を目的に研修会を開催した。

### 依存症相談対応研修 (依存症医療研修・依存症地域生活支援研修を兼ねて実施)

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月17日 (オンライン)	第1部 「依存症治療の現在地～行為依存(行動嗜癖)へのアプローチ～」 講師 医療法人見松会 あきやま病院 依存症病棟医長 福田 貴博 氏  第2部 「新潟県における行為依存(行動嗜癖)治療の取組」 講師 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之 氏	266人 (うち新潟市 89人)

※新潟市こころの健康センターと共催。第62回精神保健福祉東北大会記念講演と兼ねて実施。

## (4) 新潟県依存症連携会議への協力

関係機関・民間団体等と連携を強化し、依存症に関する情報や課題の共有等を目的に県と新潟市、新潟保護観察所と3者で主催し開催された。会議内容の企画、グループワークの運営等に協力した。

月日	内 容	参加者数
8月30日 (自治会館)	取組報告、連携の好事例の共有、「息の長い支援」についてグループでの意見交換等	43人

## (5) 関係機関・民間団体等への技術支援・業務協力

関係機関や民間団体が開催する会議や研修会等での講師や情報提供等を通じて技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役割	参加者数
さいがた医療センター	○おふらいんキャンプ(ゲーム障害対象) 検討会に出席(4回) ○運営に従事	業務協力	延べ123人 76人
はばたきネット	依存症関係機関・団体による定例会に出席 (4回)	情報提供	延べ82人
南 魚 沼 市	FM ゆきぐにラジオ放送「心の時間」の出演	情報提供	

# 精神保健福祉センター所報

令和5年度

新潟県精神保健福祉センター

## 巻 頭 あ い さ つ

令和5年度の新潟県精神保健福祉センター所報をお届けします。

当センターのこの1年の活動にご協力いただいた関係各位に深く感謝いたしますとともに、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

精神保健福祉分野は、近年の社会情勢の著しい変化や複雑・多様化する県民ニーズと相まって、対象とする範囲や支援内容が大きく変化しています。令和6年4月の改正精神保健福祉法完全施行に向け、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(「にも包括」)の構築を目指した取り組み、災害派遣精神医療チーム(DPAT)にかかる研修など当センターの守備範囲はここ数年拡大し続けており、業務の重要性も一層増してきています。

令和5年度事業では、前年度に引き続き、自殺対策、高次脳機能障害相談支援、ひきこもり対策、依存症対策に加え、前記の市町村職員等「にも包括」関係者向け研修、法改正に伴う精神医療審査会事務局業務の変更に対応しました。また県障害福祉課と共同で「子どものメンタルケア事例検討会」を開始したところです。

それぞれの分野において、支援従事者等の研修等による人材育成、つどい・交流会等の本人・家族支援、関係機関等に対する技術的支援など、市町村、保健所をはじめ地域の関係機関・団体と連携し、御協力を得て事業を推進しております。

ところで、令和5年5月に5類感染症へと移行した新型コロナウイルス感染症はその後大きな流行に至ることはなく、当所の各種事業も平時の感染症予防態勢での実施へと円滑に移行しました。令和2年1月の国内流行開始以来、各種研修会等がリモートにより実施できたことは各分野の講師の先生方のご協力があったることとあらためて厚く感謝申し上げますとともに、この間に修得したリモート研修、web会議等のノウハウは今後に向けさらに技術を磨いていく所存です。

終わりに、今後も各種精神保健福祉相談への対応や普及啓発のための情報発信を充実し、専門職等関係職員の資質の向上に努めて参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年3月

新潟県精神保健福祉センター

所 長 阿部 俊幸

# 目 次

## I センターの概要

1 職種別職員構成	1
2 予 算	1
3 施設 の 概 要	2

## II 事業実績

1 技術指導及び技術援助	4
2 教育研修	7
3 普及啓発	10
4 調査研究	11
5 精神保健福祉相談	12
6 組織育成・支援	14
7 精神医療審査会事務	15
8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務	17
9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供	18
10 自殺対策	20
11 思春期精神保健相談事業	22
12 ひきこもり地域支援センター事業	23
13 災害後の精神保健福祉対策	25
14 障害者総合支援法関連事業	26
(1)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業	26
(2)高次脳機能障害相談支援センター事業	30
15 依存症対策	33
16 協議会等	35

# I センターの概要

## 1 職種別職員構成

形態 \ 職種	医師	精神保健福祉 相談員	高次脳機能障 害相談支援コ ーディネータ ー	一般事務	計
常勤	1(1)	6		1	8(1)
非常勤	9	1	1	2	13
計	10(1)	7	1	3	21(1)

※ ( )は県立精神医療センターとの兼務である。

## 2 予 算

### (1) 歳 入 (円)

科 目	調定額	収入額
(款) 使用料及び手数料	1,781,836	1,781,836
(項) 使用料	1,781,836	1,781,836
(目) 行政財産使用料	1,781,836	1,781,836
(節) 土地使用料	74,800	74,800
(節) 建物使用料	1,707,036	1,707,036
(款) 諸 収 入	2,080,915	2,080,915
(項) 雑 入	2,080,915	2,080,915
(目) 雑 入	2,080,915	2,080,915
(節) 雑 入	2,080,915	2,080,915

### (2) 歳 出 (円)

科 目	予算額	支出済額
(款) 福 祉 保 健 費	27,261,498	25,917,262
(項) 障害福祉費	27,261,498	25,917,262
(目) 精神保健福祉センター費	12,073,000	11,683,345
(節) 報 酬	1,735,000	1,708,920
(節) 期末手当	351,000	350,216
(節) 共済費	353,000	337,626
(節) 報償費	80,000	65,400
(節) 旅 費	120,000	101,280
(節) 需用費	6,037,000	5,804,043
(節) 役務費	436,000	426,787
(節) 委託料	2,773,000	2,735,615
(節) 使用料及び賃借料	10,000	380
(節) 備品購入費	0	0
(節) 負担金・補助及び交付金	158,000	133,078
(節) 公課費	20,000	20,000

(\*職員給与を除く。)

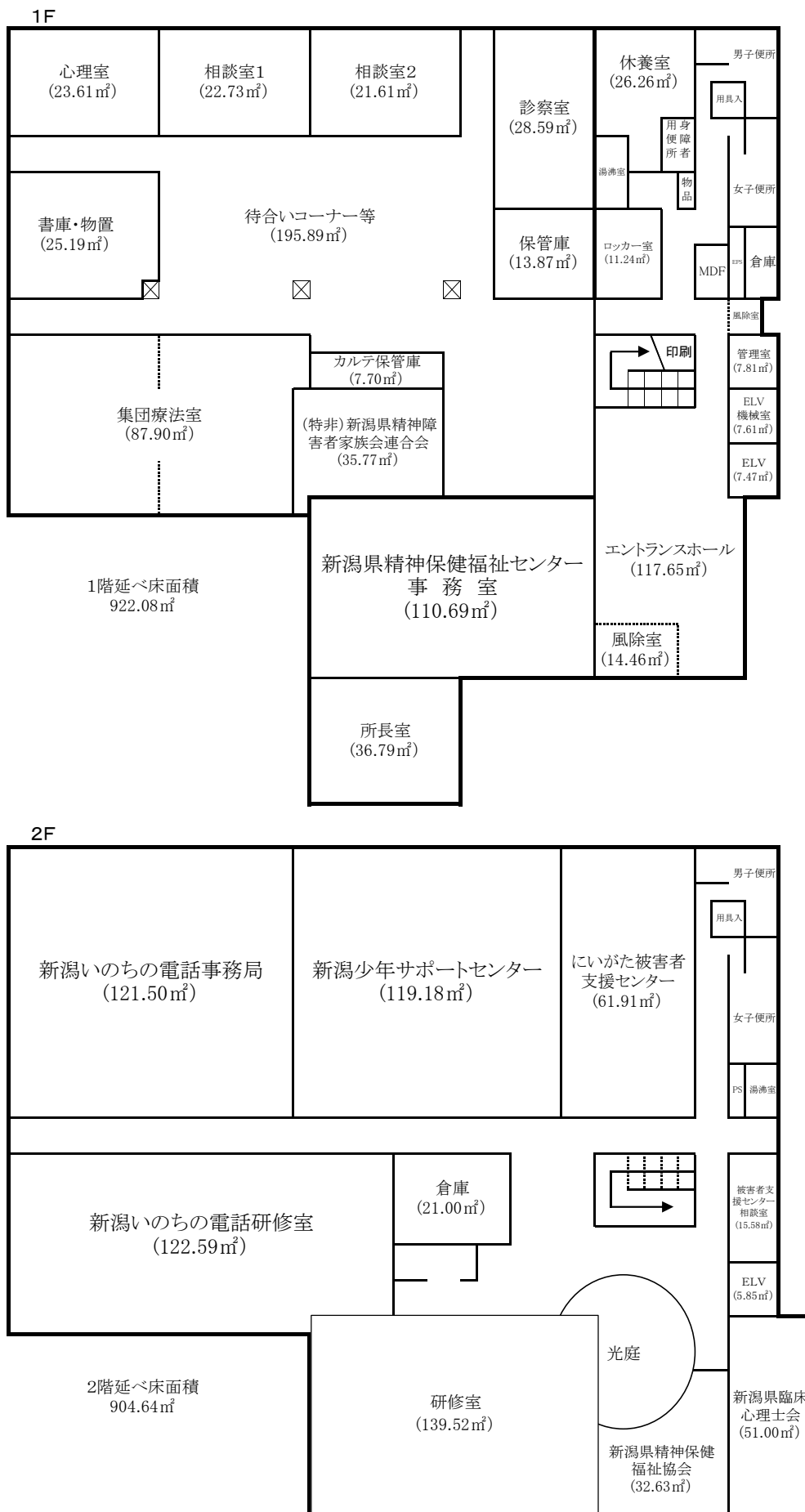
### 3 施設 の 概 要

(1) 名 称	新潟県精神保健福祉センター
(2) 所 在 地	〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3 新潟ユニゾンプラザハート館 代表電話 025 (280) 0111 F A X 025 (280) 0112 相談電話 025 (280) 0113
(3) 沿 革	
昭和43年4月1日	新潟市川岸町1丁目57番地1に厚生相談センター（中央児童相談所、婦人相談所を加えた合同庁舎）の3階と2階の一部に「新潟県精神衛生センター」として設置。庶務課と相談指導課の2課制。専任職員12名
昭和46年4月1日	専任職員が1名削減され、11名
昭和58年4月1日	規制改正により課制廃止となり業務分担制となる。庶務課分掌事務は衛生部医務課庶務係の所管となる。専任職員11名が7名に削減
昭和63年3月29日	精神衛生法の改正により、「精神保健センター」に改称
平成7年4月1日	平成7年3月に中央児童相談所等の移転に伴い、庁舎名を精神保健センターへ名称変更。単独庁舎となる。所管は環境保健部公衆衛生課
平成7年7月10日	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、「新潟県精神保健福祉センター」に改称
平成10年	庁舎の大規模改修（耐震補強）工事が行われる。
平成13年4月1日	専任職員（事務）1名が増員され8名体制となり、庶務的分掌事務が福祉保健部健康対策課から移管 精神医療審査会の事務、精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）に関する判定の事務も移管
平成14年4月1日	専任職員（精神保健福祉相談員）1名が増員され9名体制となる。
平成16年3月8日	新潟市上所2丁目2-3新潟ユニゾンプラザハート館へ移転 相談専用電話の開設
平成22年4月1日	高次脳機能障害相談支援センター開設。相談専用電話が設置され、翌年1月には専任コーディネーターが配置される。
平成25年4月17日	障害福祉課内に開設された「新潟県ひきこもり地域支援センター」を支援するため当所に専用相談電話を開設。研修・啓発・技術支援を当所が担当
平成29年4月1日	専任職員（事務）1名が減員され8名体制となる。
平成31年4月1日	「新潟県ひきこもり地域支援センター」を当所内に設置 「新潟県アルコール健康障害対策推進計画」において相談拠点となる。
令和3年3月31日	新潟県依存症相談拠点機関運営事業」において相談拠点となる。
令和3年4月1日	新型コロナウイルス感染症に関するこころの相談に対応する専用電話相談「新型コロナ こころの相談」を開設（令和5年3月末まで）

#### (4) 案 内 図



(5) 施設配置図



## Ⅱ 事業実績

### 1 技術指導及び技術援助

地域振興局健康福祉(環境)部をはじめとして、関係機関からの要請に応じ職員を派遣し、技術支援等を行った。

○保健所・主管課

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打合せ(2回)(村上・新発田保健所主催)	技術支援	6人
	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(村上・新発田保健所主催)	助言	21人
新潟地域振興局 健康福祉部	○新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会(2回)	助言	延べ39人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(新津保健所・新潟市こころの健康センター主催)	情報提供	65人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○県央地域自殺対策連携会議	情報提供	12人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)	技術支援	4人
	○県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)	情報提供	延べ65人
	○県央地域市町村精神保健福祉担当者情報交換会	助言	15人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	助言	23人
	○県央圏域高次脳機能障害者家族のつどい(2回)	助言	延べ5人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○県央圏域ひきこもり支援従事者連絡会	技術支援	22人
	○中越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(長岡・柏崎保健所主催)	助言	45人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(3回)	技術支援	延べ97人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○中越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(2回)(長岡・柏崎保健所主催)	技術支援	延べ10人
	○高校生のメンタルヘルス支援会議	情報提供	16人
	○中越圏域自立支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会(2回)(長岡・柏崎保健所主催)	情報提供	延べ43人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○柏崎厚生病院交流会	講師	16人
	○自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助言	8人
南魚沼 地域振興局 健康福祉部	○南魚沼地域依存症回復支援事業「ふらっと」(2回)(南魚沼市、南魚沼保健所主催)	技術支援	延べ16人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会打合せ(魚沼・十日町保健所共催)	技術支援	3人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(魚沼・十日町保健所共催)	助言	37人
	○魚沼圏域高次脳機能障害者家族のつどい(南魚沼・魚沼・十日町保健所主催)	技術支援	延べ8人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○上越圏域障害者地域支援連絡調整会議・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会(2回)(上越・糸魚川保健所主催)	情報提供	延べ28人
	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野)(6回)	技術支援	延べ115人
	○上越圏域高次脳機能障害者家族のつどい(上越・糸魚川保健所主催)	技術支援	延べ11人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
糸魚川地域振興局 健康福祉部	○障害者地域生活支援体制整備事業に係る専門アドバイザー派遣(にも包括分野) (2回)	技術支援	延べ22人
	○上越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会(上越・糸魚川保健所主催)	技術支援	30人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○佐渡圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	助 言	19人
	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい(打合せ、振り返り)	技術支援	5人
	○佐渡圏域高次脳機能障害者家族のつどい	技術支援	8人
県 障 害 福 祉 課	○いのちとこころの支援センター業務連絡会(3回)	情報提供	延べ41人
	○自殺対策担当者会議	情報提供	52人
	○新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	情報提供	17人
	○障害者ピアサポート研修に係る打合せ(3回)	情報提供	延べ43人
	○新潟県障害者ピアサポート基礎研修(2日間)	技術支援	43人
	○新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	情報提供	15人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議打合せ(3回)	技術支援	15人
	○新潟県・新潟市依存症対策連携会議	技術支援	43人
	○新潟県DPAT研修会準備会(3回)	技術支援	延べ22人
	○新潟県DPAT研修会	技術支援	62人
○子どものメンタルケア事例検討会打合せ(5回)	技術支援	延べ32人	
○子どものメンタルケア事例検討会(4回)	技術支援	延べ420人	

○関係機関(県)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
警 察 本 部	○県警察学校講義(2回)	講 師	24人

○関係機関(市町村)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
新 発 田 市	○精神障がい者を支える人たちのフリートーク会	情報提供	10人
	○若者支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	29人
阿 賀 野 市	○地域生活支援拠点等にかかる打合せ(相談支援拠点)	技術支援	5人
加 茂 市	○精神障害対応した地域包括ケアシステム構築にかかる打合せ(相談支援拠点)	技術支援	6人
燕 市	○こころのゲートキーパー養成研修会(自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	11人
	○燕市自立支援協議会つばめで暮らそう部会(3回)	情報提供	延べ29人
	○燕市高齢・障がい分野同士の連携強化に向けた事例検討会打合せ	技術支援	4人
	○燕市高齢・障がい分野同士の連携強化に向けた事例検討会	講 師	24人
	○精神保健福祉法改正に係る勉強会	講 師	16人
	○困難事例検討会	助 言	4人
○相談支援専門員研修会(ひきこもり支援に関する講義)	講 師	18人	
長 岡 市	○ひきこもりに関する支援者研修会	講 師	59人
見 附 市	○ひきこもり支援者研修会	講 師	17人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
魚 沼 市	○こころのゲートキーパー養成研修会 (自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	15 人
南 魚 沼 市	○FM ゆきぐにラジオ放送「心の時間」の出演	情報提供	
佐 渡 市	○こころのゲートキーパー養成研修会 (自殺危機初期介入スキルワークショップ)	講 師	15 人
田 上 町	○田上町民生委員児童委員定例会 (自殺予防に関する講義)	講 師	28 人
出 雲 崎 町	○出雲崎町地域自立支援協議会 障害者部会 (2回)	助 言	延べ15人

○関係機関 (その他)

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
さいがた医療センター	○ゲーム依存おふらいんキャンプ検討会(4回)	技術支援	延べ123人
	○ゲーム依存おふらいんキャンプ	技術支援	76人
新 潟 大 学 歯 学 部	○講義	講 師	25 人
新 潟 県 立 大 学	○特殊講義A (こころの健康づくりについて)	講 師	65 人
新 潟 県 立 三 条 高 校	○グローバル研究 (自殺予防に関する学生の研究活動)	助 言	3 人
新 潟 県 社 会 福 祉 協 議 会	○”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14 人
にいがた被害者支援センター	○継続研修 (相談員・支援員研修)	講 師	10 人
長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会	○不登校・ひきこもりを考える事例検討会	情報提供	30 人
自死遺族語り合いの会「虹の会」	○例会の運営支援 (6回)	技術支援	延べ34人
	○普及啓発に関する支援 (2回)	技術支援	2人
はばたきネット	○依存症関係機関・団体の情報交換のための定例会 (4回)	情報提供	延べ82人

## 2 教育研修

精神保健福祉業務従事者及び関係機関の職員に対して研修を行った。

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

市町村、精神科医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、地域活動支援センター、地域振興局健康福祉（環境）部等において、精神保健福祉業務の従事する職員を対象に、精神保健医療福祉に関する基礎知識及び技術を習得して円滑に業務を遂行し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築を推進する人材の育成を図るため、研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<前期> 9月4日～25日 （オンデマンド 配信）	○講義「精神保健福祉分野で必要な相談支援スキル」 講師：NPO 法人上越メンタルネット 地域活動支援センター あぼあん 管理者 青木 美代子 ○講義「精神保健福祉に関する施策について」 講師：障害福祉課いのちこころの支援室 政策企画員 本間 直美 ○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮	123人 (申込数)
<後期> 9月29日 （自治会館本館）	○講義「精神障害者の地域生活支援（総論）」 講師：一般社団法人上越相談ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ ○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～退院支援と地域生活を支える体制づくり～」 講師：田宮病院こころのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一 ○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～地域相談支援を活用した支援～」 講師：相談支援センター青空 次長・相談支援専門員 坂上 則子 ○グループワーク「あなたのまちの『にも包括』について」	76人

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

### (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（市町村編）

市町村、障害者基幹相談支援センター、市町村から障害者相談支援事業の委託を受けている事業者、及び地域振興局健康福祉（環境）部等において精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、市町村を主体として構築することとされている、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについての基本的な考え方への理解を深め、当該システムの構築を推進することができるよう、医療・保健・福祉関係者による協議の場を運営する担当者等の資質向上を目的として実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
9月8日 （オンライン）	○講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ～市町村の精神保健相談支援体制づくりのポイント～」 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 広沢 昇 ○実践報告 「地域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築・ 運用に向けた取り組み～『精神障がい者を支える人たちのフリー トーク会』設立から地域生活支援への『展開プロセス』を中心に～」 報告者：新発田市障がい者基幹相談支援センター相談員 本間 良 ○意見交換	60人

### (3) 措置入院の運用及び退院後支援研修会

地域振興局健康福祉（環境）部の精神保健福祉相談員等に対し、措置入院の運用に関する理解を深めることを目的に研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
4月27日 （オンライン）	○措置入院に関する事務処理（通報受理～調査～診察の決定まで）についての講義 ○演習	9人

### (4) 精神保健福祉相談員等新任者向け研修会

精神保健福祉相談員として、通報対応の法施行業務を適切に行うことができるようになること及び精神保健福祉にかかる相談支援が適切にできるよう、基礎知識・技術を習得し、基本姿勢を学ぶため研修会を開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<第1回> 4月27日 （オンライン）	○講義「措置入院について」 ○講義「法第27条に基づく調査のポイント」 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子 ○講義「受入先病院と診察医の探し方」 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 清野 美佐緒 ○演習「法第23条通報事例を用いた調査体験」 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子 精神保健福祉センター 専門相談員 保科 志貴子・清野 美佐緒 ○実習「調査書の作成」 ○講評・意見交換・質疑応答など 講師：十日町地域振興局健康福祉部 課長代理 島田 知子	9人
<第2回> 4月28日 （オンライン）	○講義「精神保健福祉相談対応の基本」 講師：新発田地域振興局健康福祉部 課長代理 細野 純子 ○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮	9人
<第3回> 1月25日 （精神保健福祉センター）	<第1部> ○相談支援や事業の企画運営に関する情報交換 <第2部> ○講義「思春期青年期の様々なこころの問題とその対応」 講師：南浜病院 副院長 川嶋 義章 ○事例検討 助言者：南浜病院 副院長 川嶋 義章 事例提供者：中越地域いのちこころの支援センター 専門相談員 石丸 雄貴	13人

## (5) 精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー

当県の精神医療・保健・福祉に関する多職種の関係者が一堂に会した質の高い研修の機会を提供するため、新潟県精神医療機関協議会、新潟県精神障害者家族会連合会、新潟県精神保健福祉士協会及び新潟県精神障害者社会福祉施設協議会とともに毎年テーマを決めて開催している。

月日 (会場)	内 容	参加者数
令和6年 2月16日 (オンライン)	<p>テーマ「精神障害者の権利擁護と意思決定支援」</p> <p>○基調講演「精神障害者の権利擁護と意思決定支援 ～権利擁護の法的枠組みと障害者権利条約～」 講師：福岡県弁護士会所属 弁護士 森 豊</p> <p>○シンポジウム ～一人の人として尊重する支援を行うために～ (シンポジスト)</p> <p>医療法人恵生会 南浜病院 院長 金子 尚史 医療法人崇徳会 田宮病院 ころろのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一</p> <p>一般社団法人 SADO Act 代表理事 相談支援センターそらうみ 主任相談支援専門員 本間 奈美 絆 with ピア 代表 佐藤 健太郎</p> <p>座長：医療法人社団敬生会 白根緑ヶ丘病院 院長 佐野 英孝 助言者：基調講演講師 森 豊</p>	368人 (申込数)

## (6) 学生実習

学生の職業意識向上のための機会提供と行政に対する理解を深めることを目的として、実習受け入れを行い、講義、会議・研修会等各種事業への参加等のプログラムを提供した。

ア 実習受入期間 16日間 (令和6年2月14日～3月7日)

受入学校・人数 新潟青陵大学・2名

### 3 普及啓発

県民の精神的健康の保持増進をはかり、関係機関に対して精神保健医療福祉に関する情報等を提供するため、以下の広報普及活動を行った。

#### (1) 講演会等

講演会等にて、精神保健に関する知識の普及啓発につとめた。

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月10日 (胎内市産業文化会館)	「アルコール健康障害普及啓発講演会」 アルコール健康障害に関する講演、依存症の普及啓発展示、相談会	79人
11月1日 (南魚沼市民会館)	「依存に関する困りごと 家族のための相談会」	4人
	「南魚沼市健康推進員研修会」(南魚沼市主催)における 依存症の普及啓発展示	
計		83人

#### (2) 普及啓発資材の貸し出し

精神保健福祉について正しい知識の普及を図るため、DVD や普及啓発パネルの貸し出しを行った。

貸出先 貸出物品	病院	関係機関	市町村	保健所	計
DVD	0	8	0	0	8
普及啓発パネル	0	0	0	5	5

#### (3) 機関誌等の発行

##### ア「精神保健福祉だより にいがた」の発行

精神保健福祉に関する取組やトピックについて広報するため、「精神保健福祉だより にいがた 第137号」を発行し、ホームページに掲載するとともに関係機関に配布した。

##### 【目次】

巻頭言 あらためて自殺率を考える(その4)

特 集 1. ひきこもり支援について

2. 依存症対策事業について

報 告 「第62回精神保健福祉東北大会」を開催しました

##### イ「精神保健福祉情報マップ」の発行

県内の精神保健福祉関連の社会資源について、関係機関が共有し業務に活用できるよう、「精神保健福祉情報マップ—令和5年度版—」(発行部数600部)を発行し、関係機関に配布した。

##### ウ「DVD目録」の発行

精神保健福祉センターが所有しているDVD等の目録を年1回作成・配布し、関係機関職員の研修や県民への普及啓発に活用できるようにした。

## 4 調査研究

精神保健福祉活動推進のため、調査研究を行い、情報発信した。

### 学会・研究会発表

月日 会の名称 (会場)	主担当者	内容
10月29日～30日 第59回全国精神保健福祉 センター研究協議会 (ザ・ヒロサワ・シティ 会館/水戸市) ※オンライン併用	所長 阿部 俊幸	自立支援医療(精神通院医療)受給者の 自殺率について

## 5 精神保健福祉相談

来所者及び地域振興局健康福祉(環境)部等の複雑困難な事例について、精神保健福祉相談及び精神医学的診断・指導助言を行い、必要な支援・援助活動を行った。

### (1) 年次別利用者数

	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	実人数			延人数	実人数			延人数	実人数			延人数
来所	114	男	89	330	114	男	85	228	107	男	80	238
		女	25			女	29			女	27	
電話	845	男	439	3,308	890	男	442	3,502	689	男	376	3,652
		女	389			女	409			女	285	
		不明	17			不明	39			不明	28	
計	959	男	528	3,638	1,004	男	527	3,730	796	男	456	3,890
		女	414			女	438			女	312	
		不明	17			不明	39			不明	28	

### (2) 男女別・年齢別実件

		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
来所	男	0	4	13	7	18	21	8	8	1	80
	女	0	1	7	3	8	3	3	2	0	27
	計	0	5	20	10	26	24	11	10	1	107
電話	男	0	20	33	41	35	55	29	32	131	376
	女	0	18	17	26	28	23	22	10	141	285
	不明	2	3	1	0	2	0	1	0	19	28
	計	2	41	51	67	65	78	52	42	291	689
計	男	0	24	46	48	53	76	37	40	132	456
	女	0	19	24	29	36	26	25	12	141	312
	不明	2	3	1	0	2	0	1	0	19	28
	計	2	46	71	77	91	102	63	52	292	796

### (3) 保健所管内別実件数

	新潟市	下越				中越						上越		県外	不明	計
		村上	新発田	新津	佐渡	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	上越	糸魚川			
来所	44	2	12	2	1	23	10	2	2	3	1	5	0	0	0	107
		17				41						5				
電話	113	15	54	23	14	116	95	11	11	8	9	36	5	18	161	689
		106				250						41				
計	157	17	66	25	15	139	105	13	13	11	10	41	5	18	161	796
		123				291						46				

## (4) 来所経路

	保健所	市町村	医療機関	福祉事務所	児童相談所	女性福祉相談所	施設	教育機関	警察機関	司法関係	その他の公的機関
来所	9	6	8	0	0	0	4	0	0	0	2
電話	6	22	25	0	0	0	4	4	1	0	22
計	15	28	33	0	0	0	8	4	1	0	24
	マスコミ	本・パンフレット	インターネット	いのちの電話	個人的紹介	精神障害者手帳	継続	直接来所 タウンページ	その他	不明	計
来所	0	1	11	0	4	0	57	0	2	3	107
電話	8	23	160	6	8	0	111	0	14	272	689
計	8	24	171	6	12	0	168	0	16	275	796

## (5) 主訴別実件数

主 訴	来所	電話	計	主 訴	来所	電話	計
発 達 の 問 題	1	1	2	家 庭 内 の 問 題	1	50	51
性 格 ・ 行 動 の 問 題	24	295	319	診 断 ・ 治 療 の 問 題	2	115	117
結 婚 ・ 遺 伝 の 問 題	0	1	1	リ ハ ビ リ テー シ ョ ン	31	100	131
教 育 の 問 題	0	14	14	そ の 他	46	84	130
職 業 の 問 題	2	29	31	計	107	689	796

## (6) 診断名別実件数

診断名 (疑い含む)	来所	電話	計	診断名 (疑い含む)	来所	電話	計
統合失調症・妄想性障害	0	41	41	摂 食 障 害	0	3	3
そ う う つ 病	0	20	20	パ ー ソ ナ リ ティ 障 害	1	7	8
う つ 病	0	44	44	精 神 遅 滞	0	9	9
そ の 他 の 気 分 障 害	0	0	0	自 閉 症 ・ ア ス ペ ル ガ ー 障 害	1	12	13
て ん か ん	0	3	3	そ の 他 の 発 達 障 害	1	6	7
老 年 期 精 神 障 害	0	2	2	不 登 校 ・ ひ き こ も り	0	4	4
高 次 脳 機 能 障 害	78	98	176	そ の 他	0	4	4
ア ル コ ー ル 関 連 障 害	0	17	17	不 明	9	365	374
薬 物 乱 用	1	1	2	障 害 な し	13	21	34
そ の 他 の 中 毒 性 精 神 障 害	1	12	13	計	107	689	796
神 経 症 性 障 害	2	20	22				

## (7) 処遇内容 (延件数)

紹介	助言	ケースワーク	医学的指導	訪問	その他	計
71	3,345	132	11	11	320	3,890

## 6 組織育成・支援

地域精神保健福祉活動の一環として、精神障害者家族会をはじめ各種団体に対して専門的立場から指導援助を行った。

要請機関・団体	内 容	参 加 者 数 (人)			備 考
		総 数	家族等	関係者	
新潟県精神医療 機関協議会	○理事会 2回 (オンライン) ○定期総会 (オンライン) ○精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー (令和6年2月16日) (オンライン) ○セミナー打合せ (2回) ○会報の発行 (2回)	13 24 368 13		13 24 368 13	
新潟県精神保健 福祉協会	○理事会 (オンライン) ○総会・精神保健福祉東北大会 (11月17日 東北精神保健福祉連絡協議会と両主催 /会場参集とオンライン配信の併用) ○全国精神保健福祉連絡協議会総会 (書面)	13 377		13 377	
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会 (実行委員会)	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 (8月26日)	63		63	
新潟県精神障害 者家族会連合会	○精神保健福祉フォーラム (6月5日) ○みんなねっと北信越ブロック家族会精神保健福祉 研修会新潟大会 (11月28日 会場参集とオンライ ンの併用)	80 88		80 88	※関係者に 家族等を含 む
はばたきネット	○定例会 (依存症関係機関・団体による情報交換) 4回 (オンライン)	82		82	
新潟青陵大学	○学生実習 (令和6年2月14日～3月7日)	2		2	
計		1,123		1,123	※関係者に家 族等を含む

## 7 精神医療審査会事務

精神科病院に入院中の者の人権擁護と適正な医療の確保のために、医療保護入院届や定期病状報告書の審査と入院患者等からの退院・処遇改善の請求に関して、精神医療審査会において入院継続の可否や処遇の適否に関する審査を行った。

### (1) 開催状況

**ア 合議体** 開催回数 24回(2回/月)、出席委員数 延115人  
**イ 総会**

会議名	開催日	会場	主な議題	出席委員数
新潟県精神医療審査会総会	12月26日	オンライン	・審査状況 ・令和6年度施行改正精神保健福祉法に係る新潟県精神医療審査会の体制についての検討	17人

### (2) 委員

**ア 合議体** 4合議体  
**イ 委員数** 25人 合議体所属委員：医療委員12人、法律家委員4人、有識者委員4人  
 予備委員：医療委員2人、有識者委員3人

### (3) 審査状況

#### ア-1 退院等の請求審査

区分	請求受理件数	意見聴取件数	審査件数	審査結果				取り下げ件数	退院等審査要件の消失	審査中
				現在の入院形態による入院又は処遇が適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適當			
退院請求	37	22	18 (3)	18 (3)	0	0	0	15	3	1
処遇改善請求	16	10	6 (3)	6 (3)	0	0	0	9	0	1
合計	53	32	24 (6)	24 (6)	0	0	0	24	3	2

\* ( )内は昨年度受理分

#### ア-2 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間(当年度受理分)

区分	日数別件数					合計	平均処理日数(日)
	30日以内	31日以上～40日以内	41日以上～60日以内	61日以上～90日以内	91日以上		
退院請求	4	3	8	2	1	18	53.6
処遇改善請求	2	1	2	0	1	6	59.2

## イ 定期の報告等の審査

区分	諮問 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地 審査 件数	意見 聴取 件数	審 査 中
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適當			
医療保護入院届	2,543	(87)	2,533	0	0	0	0	0	10
定期病 状報告	措置入院	12	11	0	0	0	0	0	1
	医療保護入院	1,164	1,143	0	0	0	0	0	21
合 計	3,719	(165)	3,687	0	0	0	0	0	32

### (4) 審査実績年次推移

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
審査会開催回数	24	24	24	24	24
入院届審査件数	2,151	2,457	2,564	2,558	2,543
定期病状報告書審査件数	1,268	1,310	1,270	1,241	1,176
退院等請求審査件数	41	50	48	14	24

\*令和5年度は、当年度内に書類審査を諮問した件数及び退院等請求を受理し審査した件数

### (5) 退院等請求相談電話の状況

件 数	内 訳		
	入院者本人	家族等	その他
283	274	3	6

### (6) 精神医療審査会関係会議等

会議名	主催	開催日	主な内容	出席者数
全国精神医療審査会 会長会議	厚生労働省社会・ 援護局障害保健福 祉部精神・障害保 健課	令和6年 2月22日 (アルカディア 市ヶ谷)	・精神医療保健福祉の動向 ・精神保健福祉法関係に関する指 導監督等の現状について	1人
全国精神医療審査会 連絡協議会 総会・シンポジウム	全国精神医療審査会 連絡協議会	令和6年 2月22日 (アルカディア 市ヶ谷)	・総会 ・基調報告 「令和5年度全国精神医療審査会 連絡協議会緊急アンケート調査 結果速報」 ・シンポジウム 「精神医療審査会事務局機能の強 化のために ～緊急アンケート 調査の結果を踏まえて～」	1人

## 8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務

自立支援医療費（精神通院）支給認定の適否及び精神障害者保健福祉手帳交付の可否や等級判定を行った。

### (1) 自立支援医療判定件数 ※手帳同時申請による判定を含む

判定件数	13,185
承認件数	13,092
不承認件数	13

(承認/不承認件数は、令和6年3月末時点で判定結果が出たもの)

### (2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数	4,852
承認件数	4,661
1級	227
2級	4,116
3級	318
不承認件数	48

(承認/不承認件数は、令和6年3月末時点で判定結果が出たもの)

## 9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供

精神科救急医療システムの稼働状況の取りまとめ、当番体制の調整・管理を行った。

### 精神科救急医療システム稼働状況

(休日昼間)

令和5年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	22.0%	54.9%	72.1%	39.4%	56.9%	49.9%
稼働日数	27	95	88	37	70	317
当番日数	123	173	122	94	123	635
対応件数	32	280	471	53	162	998
電話のみ	17	187	403	40	128	775
電話→来院	11	86	56	7	33	193
直接来院	4	7	12	6	1	30
処理内容	32	280	471	53	162	998
相談助言	19	191	405	40	129	784
外来診療	5	63	38	3	22	131
入院	8	26	28	10	11	83
任意入院	2	5	6	2	4	19
医療保護	5	19	18	6	3	51
その他	1	2	4	2	4	13

年度別推移

状況	年度					
	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
稼働状況	59.5%	61.3%	62.3%	59.2%	58.0%	49.9%
稼働日数	390	398	392	369	365	317
当番日数	655	649	629	623	629	635
対応件数	1,146	1,282	1,215	1,090	1,150	998
電話のみ	815	961	952	833	918	775
電話→来院	263	233	212	214	195	193
直接来院	68	88	51	43	37	30
処理内容	1,146	1,282	1,215	1,090	1,150	998
相談助言	824	973	964	839	918	784
外来診療	205	228	159	156	152	131
入院	117	81	92	95	80	83
任意入院	19	19	19	18	23	19
医療保護	84	53	65	69	50	51
その他	14	9	8	8	7	13

( 夜 間 )

令和5年度ブロック別比較

ブロック 状況	県北	新潟・ 佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	62.3%	86.5%	79.6%	33.3%	49.5%	74.9%
稼働日数	43	257	191	11	46	548
当番日数	69	297	240	33	93	732
対応件数	69	1,226	778	13	84	2,170
電話のみ	40	1,055	703	7	73	1,878
電話→来院	24	164	63	3	10	264
直接来院	5	7	12	3	1	28
処理内容	69	1,226	778	13	84	2,170
相談助言	40	1,058	705	7	73	1,883
外来診療	20	96	32	0	6	154
入院	9	72	41	6	5	133
任意入院	1	14	5	1	3	24
医療保護	6	54	31	5	2	98
その他	2	4	5	0	0	11

年度別推移

年度 状況	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
稼働状況	78.6%	78.2%	77.7%	79.4%	74.8%	74.9%
稼働日数	574	572	567	546	579	548
当番日数	730	731	730	730	730	732
対応件数	2,427	2,612	2,447	2,328	2,461	2,170
電話のみ	2,097	2,312	2,161	2,174	2,059	1,878
電話→来院	307	266	264	259	246	264
直接来所	23	34	22	28	23	28
処理内容	2,427	2,612	2,447	2,328	2,461	2,170
相談助言	2,105	2,322	2,167	2,180	2,063	1,883
外来診療	185	157	134	149	150	154
入院	137	133	146	132	115	133
任意入院	29	33	20	25	14	24
医療保護	94	90	101	106	91	98
その他	14	10	11	15	10	11

## 10 自殺対策

### (1) 人材育成

#### ア いのちとこころの支援センター専門相談員に対する技術援助

県が設置する自殺対策専門の相談支援機関「いのちとこころの支援センター」(3か所)に従事する専門相談員の育成、支援として、研修会の開催及び業務連絡会での助言等を行った。

いのちとこころの支援センター専門相談員等業務連絡会(第1回参集、第2回・第3回オンライン)  
【月 日】6月15日、10月23日、令和6年2月5日  
【参加者】延べ41人

いのちとこころの支援センター専門相談員等研修会  
【月 日】6月15日  
【参加者】18人

#### イ 支援者研修会

医療、保健、福祉関係機関の職員が、自殺未遂等のハイリスク者への支援において、適切な対応を理解し実践できることを目的に、研修会を開催した。

【月 日】令和6年3月6日  
【方 法】オンライン  
【内 容】・講義「自死遺族の心理と支援の基本」  
講師:東京都立大学 人文社会学部人間社会学科心理学教室 准教授 勝又 陽太郎  
・報告「自死遺族語り合いの会の活動と遺族としての思い」  
報告者:自死遺族語り合いの会 虹の会 世話人  
・トークセッション(講師、報告者)  
【参加者】120人

※市町村及び保健所を対象に、オンデマンド配信も実施した。(令和6年3月18日から3月31日)

#### ウ 市町村・民間団体等主催人材養成研修会への技術支援

市町村や民間団体が開催する住民又は団体構成員に対するゲートキーパー養成研修会に対して、企画への助言や講師として開催支援を行った。

○市町村主催  
【時 期】10月、11月、12月  
【実施市町村】佐渡市、魚沼市、燕市、田上町 計4市町  
【内 容】自殺危機初期介入スキルワークショップ(ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研究会のテキストを使用)や講義形式の研修会等  
【参加者】計69人

## (2) ポストベンション

### ア 自死遺族支援

自助グループである自死遺族語り合いの会が円滑に運営できるよう支援した。

○自死遺族語り合いの会「虹の会」への支援（会場提供、運営の補助）

【例 会】年6回：偶数月第1木曜日開催

【会 場】精神保健福祉センター

【参加者】延べ34人

### イ ポストベンション

自殺者や未遂者の発生した事業所等団体や関係機関に対して、場のケアやその後の対策への助言等支援を行い、精神的不調者や再発のリスク軽減を図る。（令和5年度は支援依頼なし）

## (3) 市町村・関係機関・保健所技術支援

### ア 市町村・関係機関等への支援

自殺予防対策を実施する市町村・関係機関に対して、技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
障 害 福 祉 課	自殺対策担当者会議	情 報 提 供	52 人
新 潟 県 立 大 学	こころの健康に関する講義	講 師	65 人
新 潟 県 立 三 条 高 校	自殺予防に関する学生の研究活動への助言	助 言	3 人
計	3回		120 人

### イ 保健所への支援

自殺予防対策を実施する保健所に対して技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
三 条 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 環 境 部	県央地域自殺対策連携会議	情 報 提 供	12 人
柏 崎 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	高校生のメンタルヘルス支援会議	情 報 提 供	16 人
魚 沼 地 域 振 興 局 健 康 福 祉 部	自殺未遂者等自殺ハイリスク者支援研修会	助 言	8 人
計	3回		36 人

## (4) 普及啓発

- ・自殺の現状や自殺予防に関する情報をホームページに掲載。
- ・県こころの相談ダイヤルのリーフレット・カード等の配布による相談窓口の周知。
- ・メンタルヘルス、自死遺族支援等の自殺予防に関連する普及啓発リーフレットを関係機関に配布。
- ・自死遺族語り合いの会「虹の会」の普及啓発への協力。

## 11 思春期精神保健相談事業

### (1) 来所相談（再掲）

適応障害や精神疾患等の思春期の心の問題の解決を図るため、思春期青年期精神保健福祉相談会（ケース検討への助言含む）を年5回開催し、専門的診断・指導を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	5	5
女	2	2
計	7	7

#### イ 性別・年齢別実件数

	～14	15～19	20～	計
男	0	2	3	5
女	0	1	1	2
計	0	3	4	7

#### ウ 診断名別実件数

診断名	件数	診断名	件数
統合失調症	0	摂食障害	0
発達障害	0	パーソナリティ障害	0
社会不安障害	0	無し	1
場面緘黙	0	不明その他	6
		計	7

#### エ 支援別実件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	0
相談継続	1
助言指導	6
計	7

### (2) 本人及び家族支援

#### ア ひきこもり家族交流会

月日（会場）	内容	参加者数
8月25日 （精神保健福祉センター）	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師／スクールカウンセラー 山崎 里美	6人
11月29日 （精神保健福祉センター）	○語り合い「家族が元気であるために」 ファシリテーター：公認心理師／スクールカウンセラー 山崎 里美	5人

#### イ ひきこもり当事者グループ「シエスタ」

※参加者なく休止中（令和元年から）

## 12 ひきこもり地域支援センター事業

平成25年4月に県ひきこもり地域支援センターが設置され、ひきこもり相談ダイヤルへの対応等専門相談、関係職員等への研修、普及啓発、市町村等への技術支援を行った。

### (1) ひきこもり相談ダイヤル

ひきこもり相談ダイヤルを設置し、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの電話相談に対し、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	45	78
女	17	20
不明	1	1
計	63	99

#### イ 性別・年齢（実件数）

	10代	20代	30代	40代	50代 ～	不明	計
男	3	13	7	9	8	5	45
女	0	3	6	1	1	6	17
不明	0	0	0	0	0	1	1
計	3	16	13	10	9	12	63

#### ウ ひきこもりの期間（実件数）

ひきこもりの期間	件数
6ヶ月未満	6
1年未満	4
3年未満	9
5年未満	7
7年未満	1
10年未満	3
10年以上	13
不明	11
計	54

\*ひきこもり以外の相談（9件）を除く

#### エ 現在の状況（実件数）

現在の状況	件数
自室からほとんど出ない。出かけてもコンビニ程度	17
普段は家に閉じこもり気味だが、趣味に関する事のみ出かける	17
友人との付き合いや、地域活動に参加しているが、未就労	4
不明・その他	16
計	54

\*ひきこもり以外の相談（11件）を除く

#### オ 主訴（延べ件数）

主訴	件数
発達の問題	0
性格・行動の問題	84
結婚・遺伝の問題	0
教育の問題	2
職業の問題	2
家庭内の問題	3
診断・治療	1
リハビリテーション	3
その他	4
計	99

#### カ 処理内容（延べ件数）

処理内容	件数
紹介	9
助言	66
ケースワーク	6
医学的指導	0
その他	18
計	99

## (2) 当事者支援（「居場所」運営支援）

ひきこもり状態の方が参加しやすい「居場所」が各地域において効果的に運営されることを狙いとして、ひきこもり状態を経験した者による「居場所」に関する意見交換の機会（年3回）を設け、ひきこもり経験のある方の意見を広く発信した。また、交わされた意見を取りまとめ、「あらためて『居場所』のことを語ろう」と題して市町村等に情報提供し、ホームページに掲載した。

## (3) ひきこもり支援従事者研修会

ひきこもりに関する基礎知識及び技術について学び、支援技術の向上を図るため、市町村、保健所等関係機関の職員に対して研修を行った。

月日（会場）	内 容	参加者数
10月19日 （新潟ユニゾンプラザ）	○説明 小冊子「ひきこもりの理解のために」の活用について 説明者：新潟県精神保健福祉センター 主査 山元 奈々江  ○体験発表 「家族としての想いと地域における支援活動」 発表者：ひきこもりサポーター 加藤 洋子  ○講義・グループワーク 「支援は家族から～家族の変化が本人の変化に～」 講師：長岡崇徳大学 教授 斎藤 まさ子	88人

※ひきこもりサポーター養成研修を兼ねて開催

## (4) 技術支援

ひきこもり対策を実施する保健所等関係機関に対して、技術支援を行った。

要請機関	内 容	役 割	参加者数
新発田市	若者支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	29人
長岡市	ひきこもりに関する支援者研修会	技術支援	59人
燕市	相談支援専門員研修会	技術支援	18人
見附市	ひきこもり支援者研修会	技術支援	17人
新潟県社会福祉協議会	”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	技術支援	14人
長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会	長岡不登校ひきこもりをみんなで考える会事例検討会	情報提供	30人
三条地域振興局健康福祉環境部	県央圏域ひきこもり支援従事者連絡会	技術支援	22人
計	7回		189人

## 13 災害後の精神保健福祉対策

### (1) 災害後のこころのケアの対応

自然災害や大規模な事件・事故等の発生によるこころのケアについて、要請に応じて必要な対応を行う。

### (2) DPAT（災害派遣精神医療チーム）に関する活動

大規模な自然災害・事故等が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により、新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。

このような状況に対応するため、本県におけるDPATの体制整備及び災害対応力の向上に向けた取組に参画した。

#### 【県が実施する研修への参画】

月 日	内 容
6月6日 8月18日 10月3日	新潟県DPATに関する研修会準備会
11月3日	新潟県DPATに関する研修会

## 14 障害者総合支援法関連事業

### (1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業

#### ア 研修会の開催

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の実現ために、保健・医療・福祉関係者が自治体等と連携して支援体制を構築していくことが必要であり、精神科病院、障害者地域生活支援センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、市町村、保健所等に対して研修を行った。

#### (ア) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（基礎編）

月日（会場）	内 容	参加者数
<p>&lt;前期&gt; 9月4日～25日 （オンデマンド配信）</p>	<p>○講義「精神保健福祉分野に必要な相談支援スキル」 講師：NPO法人上越メンタルネット 地域活動支援センター あぼあん 管理者 青木 美代子</p> <p>○行政説明「精神保健福祉に関する施策について」 説明者：障害福祉課のちところの支援室 政策企画員 加藤 花恵</p> <p>○講義「精神疾患の基礎知識」 講師：医療法人明生会 関病院 理事長 阿部 亮</p>	123人 (申込数)
<p>&lt;後期&gt; 9月29日 （自治会館本館）</p>	<p>○講義「精神障害者の地域生活支援（総論）」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 管理者 丸山 ひろみ</p> <p>○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～退院支援と地域生活を支える体制づくり～」 講師：田宮病院こころのリハビリセンター 技師長 菊入 恵一</p> <p>○「精神障害者の地域生活支援の実際 ～地域相談支援を活用した支援～」 講師：相談支援センター青空 次長・相談支援専門員 坂上 則子</p> <p>○グループワーク「あなたのまちの『にも包括』について」</p>	76人

※本研修会は、精神障害者支援体制加算の対象研修として実施した。

#### (イ) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会（市町村編）

月日（会場）	内 容	参加者数
9月8日 （オンライン）	<p>○講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ～市町村の精神保健相談支援体制づくりのポイント」 講師：埼玉県立精神保健福祉センター 副センター長 広沢 昇</p> <p>○実践報告 「地域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築・運用に向けた取り組み～『精神障がい者を支える人たちのフリートーク会』設立から地域生活支援への『展開プロセス』を中心に～」 報告者：新発田市障がい者基幹相談支援センター相談員 本間 良</p> <p>○意見交換</p>	60人

#### (ウ) 措置入院の運用及び退院後支援に関する研修会

月日（会場）	内 容	参加者数
4月27日 （オンライン）	<p>○措置入院に関する事務処理（通報受理～調査～診察の決定まで） についての講義</p> <p>○演習</p>	9人

## イ ピアサポート活動の推進

県内関係者にピアサポート活動の普及を行うため、研修会を開催した。また、新潟県障害者ピアサポート研修の開催に協力した。

### (ア) 精神障害者ピアサポートに関する研修会

日時	内 容	参加者数
令和6年 1月15日 (オンライン)	○活動報告「お互いのピアサポート活動について知ろう」 ○意見交換「これからのピアサポート活動について語ろう」 助言者：聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科 教授 相川 章子	60人

### (イ) 新潟県障害者ピアサポート研修への協力

内 容	参加者数
障害者ピアサポート研修に係る打ち合わせ（3回）	延べ43人
新潟県障害者ピアサポート基礎研修（2日間）	43人

## ウ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業担当者連絡会議の開催

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業に関する情報交換と、障害保健福祉圏域単位の支援体制の構築に向けて具体的内容の検討を目的に担当者連絡会議を開催した。

日時（会場）	内 容	参加者数
5月31日 (オンライン)	【議題】 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業について ・令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業計画 ・障害者地域生活支援体制整備事業について 【意見交換】 ・市町村が実施する精神保健に関する相談支援体制の整備について	16人
令和6年 3月18日 (オンライン)	【議題】 ・令和5年度事業実施状況について ・障害者地域生活支援体制整備事業専門アドバイザー派遣等の実施状況について ・実践報告「新潟圏域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の取組について」 ・意見交換	13人

## エ 障害者地域生活支援体制整備事業

障害者及び障害児の地域生活を支援するため、県の拠点的相談機関が専門アドバイザーを派遣し、地域における重層的な相談支援体制を広域的かつ専門的に支援するとともに、各障害保健福祉圏域及び県全域における相談支援体制に関する協議等を行い、もって障害者等の福祉の増進を図る。

### 専門アドバイザー派遣（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築）

専門アドバイザーを派遣し、地域で対応困難な事例に係る助言、地域のネットワーク構築に向けた指導、調整等を行うことにより、地域における相談支援の充実・強化を図った。

要請機関	内 容	専門アドバイザー	回数
三条地域振興局 健康福祉環境部	ネットワーク構築	1人（福祉）	2回
長岡地域振興局 健康福祉環境部	広域的課題等の解決	1人（福祉）	3回
柏崎地域振興局 健康福祉部	ネットワーク構築	1人（福祉） 1人（医療）	1回
上越地域振興局 健康福祉環境部	ネットワーク構築	1人（福祉）	1回
	困難事例に係る助言	1人（福祉）	6回
糸魚川地域振興局 健康福祉部	ネットワーク構築	1人（福祉）	2回

## オ 市町村及び障害保健福祉圏域における取組への支援

市町村及び障害保健福祉圏域における「協議の場」への出席等にて、地域における相談支援体制の整備を図った。

圏 域	内 容	役割	参加者数
下越圏域	精神障がい者を支える人たちのフリートーク会（1回）	情報提供	10人
新潟圏域	新潟障害保健福祉圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会（2回）	助 言	延べ39人
県央圏域	県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供 助 言	延べ65人
	県央地域市町村精神保健福祉担当者情報交換会	情報提供	15人
	燕市障がい者自立支援協議会 つばめで暮らそう部会関連（7回）	情報提供 講師・助言	延べ77人
中越圏域	中越圏域自立支援連絡調整会議 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築部会（2回）	情報提供 助 言	延べ43人
	柏崎厚生病院交流会	講 師	16人
	出雲崎町地域自立支援協議会障害者部会（2回）	助 言	延べ15人
上越圏域	上越圏域障害者地域生活支援連絡調整会議・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援部会（2回）	情報提供	延べ28人

## カ 新潟県自立支援協議会関係会議等への出席

自立支援協議会関係会議の他、新潟県障害者地域生活支援体制整備事業にかかる打合せ等に、県の相談支援拠点機関として出席した。

会 議 名	参加者数
新潟県自立支援協議会（3回）	延べ108人
新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	17人
新潟県自立支援協議会担当者会議（2回）	延べ39人
新潟県障害者地域生活支援体制整備事業担当者会議	30人

## (2) 高次脳機能障害相談支援センター事業

### ア 相談支援実績（再掲）

相談支援件数 536 件（延べ件数） 相談支援者数 75 人（実人数）

直接相談（延べ件数）				間接相談（延べ件数）				計	ケース会議（協力）	
電話	来所	メール・書簡	その他（出張・同行）	電話	来所	メール・書簡	その他（出張・同行）		開催数	参加者数
203	59	4	4	173	11	74	8	536	12	69

※直接相談は当事者・家族からの相談、間接相談は関係機関（行政・医療・福祉等）からの相談とする。

### イ 普及啓発

リーフレット等の配布やホームページによる情報発信

### ウ 医療・保健・福祉関係職員研修の開催

医療保健福祉関係者の知識、支援技術の向上を図るために研修会を実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
令和6年 1月20日 （オンライン） 及び 1月29日～2月29日 （オンデマンド配信）	○実践報告「頭部外傷と高次脳機能障害」 講師：日本赤十字社 長岡赤十字病院 リハビリテーション科部 言語聴覚士 上村 優里  ○講義「高次脳機能障害に出現する行動障害や精神症状の対応」 講師：日本赤十字社 足利赤十字病院 精神神経科 部長 船山 道隆	210 人

### エ 技術支援

#### (ア) 圏域別支援従事者研修会への技術支援

二次保健医療圏において、高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法等の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、各圏域における支援ネットワークの構築に資するため、保健所主催で圏域別支援従事者研修会を実施している（7圏域）。各圏域の状況に応じて、企画への助言や情報提供、事例検討の助言等の支援を行った。

圏域	内 容	役割	参加者数
下越圏域	研修企画（打ち合わせ2回） 事例提供「高次脳機能障害がある方への支援～地域の介護、障害福祉の関係機関と協力し支援したケース」	技術支援 助 言	27 人
新潟圏域	行政説明	情報提供	65 人
県央圏域	行政説明、事例検討の助言	助 言	23 人
中越圏域	行政説明 事例提供「高次脳機能障害がある方への支援～発症後、症状に気付かず10年の時を経て支援機関が介入したケース」	助 言	45 人

圏域	内 容	役割	参加者数
魚沼圏域	研修企画（打ち合わせ） 事例検討の助言	技術支援 助 言	40 人
上越圏域	グループワークの補助	技術支援	30 人
佐渡圏域	事例検討の助言	助 言	19 人

#### (イ) 関係機関・団体への技術支援

勉強会等の開催等の依頼はなかった。

#### オ 組織育成

家族会の育成のため、講習会の実施に当たって実行委員会に参加し普及啓発に寄与した。

月日（会場）	内 容	参加者数
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会  8月26日 (生涯学習センター)	主催：高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会  ○講演「高次脳機能障害『個別性』を乗り越える自己理解支援とは？」 講師：文筆業 鈴木 大介 ○質問・相談コーナー	63 人

#### カ 家族支援

高次脳機能障害者の家族が、障害についての理解を深め、負担感・孤独感の軽減と対応力の向上を図ることを目的に実施した。

#### (ア) 家族教室

月 日	内 容	参加者数
<魚沼会場> 9月25日	○講話：「高次脳機能障害の基礎知識」 講師：南魚沼市民病院 リハビリテーションセンター 作業療法士 井口 一樹  ○語り合い	9 人
<上越会場> 9月27日	○講話：「高次脳機能障害についての基礎知識」 講師：(独) 労働者健康安全機構 新潟労災病院 中央リハビリテーション部 言語聴覚士 森田 浩  ○語り合い	9 人

#### (イ) 家族のつどい

高次脳機能障害者の家族同士の語り合いを促し、高次脳機能障害に関する情報提供を行った。

圏域	会 場	期 間	役割	参加者
全県	精神保健福祉センター	6月から令和6年2月（全5回）	主 催	延べ88人
県央圏域	三条地域振興局健康福祉環境部	11月から令和6年3月（全2回）	共 催	延べ5人
中越圏域	長岡地域振興局健康福祉環境部	7月から10月（全2回）	共 催	延べ10人

圏域	会 場	期 間	役割	参加者
魚沼圏域	南魚沼地域振興局	9月から11月（全2回）	共 催	延べ8人
上越圏域	上越地域振興局健康福祉環境部	6月から12月（全3回）	共 催	延べ11人
佐渡圏域	佐渡総合病院	7月から令和6年2月（全3回）	共 催	延べ12人

※佐渡圏域については、実施にかかる打合せ、振り返りも実施。

## キ 本人支援

高次脳機能障害者のある当事者同士の交流や情報交換を通じて、障害についての理解を深め、孤立感の解消やストレスの軽減を図ることを目的に実施した。

### 当事者のつどい

期 間	会 場	対 象	参加者	プログラム
9月19日 12月12日	障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害の当事者	延べ37人	○語り合い、情報提供（2時間） 助言者： 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部 准教授 佐藤 卓也 長岡赤十字病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 上村 優里（長岡会場のみ）
10月24日 令和6年3月5日	長岡地域振興局			

## ク 支援体制整備の推進

### （ア） 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議の開催

高次脳機能障害相談支援地域拠点における相談支援の現状や課題について情報交換を行い、地域拠点機能の充実を図ることを目的に開催した。

月日（会場）	内 容	参加者数
<第1回> 7月31日 （オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政説明</li> <li>令和4年度県及び地域拠点の事業実施状況について</li> <li>令和5年度国の事業方針について</li> <li>令和5年度県及び各圏域の事業計画について</li> <li>情報・意見交換（研修企画、つどいの周知方法について等）</li> </ul>	12人
<第2回> 令和6年3月4日 （オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度県及び地域拠点の事業実施状況について</li> <li>令和6年度県の事業計画について</li> <li>情報・意見交換（研修のあり方、事業周知について等）</li> </ul>	14人

### （イ） 高次脳機能障害支援拠点運営委員会の出席（主催：障害福祉課）

高次脳機能障害支援拠点の運営、県の支援の現状と課題、県の支援体制整備に関することを検討する高次脳機能障害支援拠点運営委員会に出席し、報告等を行った。（1回）

## 15 依 存 症 対 策

### (1) 回復支援

#### ア 依存症等精神保健福祉相談（再掲）

依存症は、当事者の否認や社会生活の破綻、家族との関係性などが回復の妨げとなり、相談対応には支援者の連携も必要であるため、精神科医（嘱託医）、民間支援団体と連携し、専門相談を実施した。3回（薬物）

#### イ 精神保健福祉相談員等による依存症に関する相談（再掲）

##### (ア) 相談件数

	実件数	延べ件数
電話	49	112
来所	4	15
計	33	127

##### (イ) 依存対象別延べ件数

依存対象	件数
アルコール	34
薬物	16
ギャンブル等	50
ゲーム	6
その他	21
計	127

##### (ウ) 支援別延べ件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	11
ケースワーク	32
助言指導	80
その他	4
計	127

#### ウ 依存症地域回復支援プログラム

依存の問題がありつつも治療・回復プログラムや支援に繋がりにくい方を主な対象として、仲間や支援者と交流し、つながることや依存症について学ぶことを目的とするプログラム（居場所の運営による交流企画）の実施を支援した。

また、南魚沼地域の支援者及び依存症治療拠点と協働して企画・開催することで、人材の育成を図るとともに、依存症支援に関する医療・保健・福祉の連携強化を図った。

月日	会場	内 容	参加者数
9月20日	南魚沼市図書館 「多目的室」	・運営に従事 ・中間振り返り	9人
令和6年 3月1日	オンライン	・今年度の振り返りと次年度計画の検討	7人

※南魚沼市と南魚沼地域振興局健康福祉環境部が主催、当所、さいがた医療センター、南魚沼市社会福祉協議会が共催。6回実施。参加者49人（当事者等）。

### (2) 普及啓発

#### ア 講演会等

アルコール健康障害やその他の依存の問題を抱える方の家族や周囲の者が、相談や治療に繋がりがやすい環境整備を図ることを目的に、予防教育や普及啓発と併せて相談対応を行った。

また、胎内市及び南魚沼市において関係機関が協力して実施することで、依存症支援のスキルアップを図るとともに、医療・保健・福祉の地域連携を強化した。

月日（会場）	内 容	参加者数
11月10日 （胎内市産業文化会館）	「アルコール健康障害普及啓発講演会」 アルコール健康障害に関する講演 依存症の普及啓発展示、相談会	79人

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月1日 (南魚沼市民会館)	「依存に関する困りごと 家族のための相談会」	4人
	「南魚沼市健康推進員研修会」(南魚沼市主催)における 依存症の普及啓発展示	
計		83人

## イ その他

令和3年度に作成した県内の依存症支援機関一覧「つながるマップ」を増刷し、精神科医療機関や相談支援機関に配布した。

適性飲酒に関するパネル及びチラシを作成し、講演会等において展示及び配布を行った。

## (3) 研修

依存症の相談支援にあたる者の支援技術の向上を目的に研修会を開催した。

### 依存症相談対応研修 (依存症医療研修・依存症地域生活支援研修を兼ねて実施)

月日 (会場)	内 容	参加者数
11月17日 (オンライン)	第1部 「依存症治療の現在地～行為依存(行動嗜癖)へのアプローチ～」 講師 医療法人見松会 あきやま病院 依存症病棟医長 福田 貴博 氏  第2部 「新潟県における行為依存(行動嗜癖)治療の取組」 講師 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之 氏	266人 (うち新潟市 89人)

※新潟市こころの健康センターと共催。第62回精神保健福祉東北大会記念講演と兼ねて実施。

## (4) 新潟県依存症連携会議への協力

関係機関・民間団体等と連携を強化し、依存症に関する情報や課題の共有等を目的に県と新潟市、新潟保護観察所と3者で主催し開催された。会議内容の企画、グループワークの運営等に協力した。

月日	内 容	参加者数
8月30日 (自治会館)	取組報告、連携の好事例の共有、「息の長い支援」についてグループでの意見交換等	43人

## (5) 関係機関・民間団体等への技術支援・業務協力

関係機関や民間団体が開催する会議や研修会等での講師や情報提供等を通じて技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役割	参加者数
さいがた医療センター	○おふらいんキャンプ(ゲーム障害対象) 検討会に出席(4回) ○運営に従事	業務協力	延べ123人 76人
はばたきネット	依存症関係機関・団体による定例会に出席 (4回)	情報提供	延べ82人
南 魚 沼 市	FM ゆきぐにラジオ放送「心の時間」の出演	情報提供	

## 16 協 議 会 等

関係機関の主催する各種協議会等に参加し、連携・支援を行った。

主 催 者	会 議 等 の 名 称	出席者 数(延)
新潟県被害者支援連絡協議会	新潟県被害者支援連絡協議会定期総会	1人
新潟保護観察所	新潟県薬物事犯者等地域支援連絡協議会	4人
	新潟県心神喪失者等医療観察制度運営協議会	1人
国立病院機構西新潟中央病院 てんかん診療拠点地域医療支援センター	てんかん治療連携協議会（2回）	2人
障害福祉課・義務教育課	発達障害者支援体制整備検討委員会及び特別支援教育総合推進事業運営協議会	1人
県子ども家庭課	新潟県配偶者暴力防止連絡会議	1人
県障害福祉課	新潟県精神保健福祉審議会	2人
	新潟県自殺予防対策推進県民会議（オンライン）	1人
	自殺対策担当者会議（オンライン）	1人
	精神保健指定医会議・精神科病院事務長・看護部長会議（オンライン）	3人
	新潟県措置入院制度連絡調整会議（オンライン）	3人
	新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会（オンライン）	3人
	新潟県障害者地域生活支援体制整備事業担当者会議	2人
	障害(児)福祉計画市町村等担当者会議	2人
	新潟県自立支援協議会担当者会議 第1回（参集）第2回（オンライン）	4人
	新潟県自立支援協議会（3回）	4人
	新潟県自立支援協議会精神障害者支援体制構築部会	2人
	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	2人
依存症対策全国センター	都道府県等依存症専門医療機関・相談員等合同全国会議	1人
国立障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（オンライン2回）	4人
	高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議（オンライン2回）	4人
高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議	高次脳機能障害支援普及関東甲信越・東京ブロック合同会議（オンライン）	2人
関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会役員会（オンライン）	1人
	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	1人
全国精神保健福祉センター長会	全国精神保健福祉センター長会（オンライン）	1人
全国精神保健福祉センター研究協議会	第59回全国精神保健福祉センター研究協議会（オンライン）	4人
全国精神医療審査会連絡協議会	全国精神医療審査会連絡協議会 総会	1人
	全国精神医療審査会長・精神保健福祉センター所長会議	1人

新潟県精神保健福祉センター

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-3  
ユニゾンプラザハート館

電 話 025 (280) 0111

F A X 025 (280) 0112

新潟県精神保健福祉センター

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-3  
ユニゾンプラザハート館

電 話 025 (280) 0111

F A X 025 (280) 0112